

結婚・出産等に関する意識調査

結果の概要

平成27年10月

1. 調査の目的

- ・ 今後のまち・ひと・しごと創生の参考資料とするため、独身者の結婚や出産に関する意識、有配偶者の出産や家庭生活に関する意識を調査した。

2. 調査の方法

- ・ インターネットを用いて、都道府県ごとに一定の回収数が確保されるよう実施した。
- ・ 調査の設計及び回収結果

【調査対象】

日本国内に在住する18歳以上49歳以下の男女でインターネット調査会社の登録モニター

【調査方法】

登録モニターに対してインターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を回収

【回収数】

独身者調査 44,514件

有配偶者調査 36,103件

【調査期間】

平成26年12月26日（金）～平成27年1月9日（金）

3. 調査項目

（独身者調査）

- ・ 基本属性（性、年齢、現在及び過去の居住地、学歴、職業、年収、両親の居住地等）、独身でいる理由、異性との交際の状況、結婚の希望、結婚・出産後の仕事の希望、希望する子ども数など。

（有配偶者調査）

- ・ 基本属性（性、年齢、現在及び過去の居住地、結婚年齢、学歴、職業、本人及び配偶者の職業、年収、両親の居住地等）、結婚前後の仕事の状況、現在・予定・理想の子ども数、理想と予定とが異なる理由、家事・育児への参加の状況、夫の家事・育児に対する満足度（妻のみ）、出産・育児についての不安や苦勞など。

4. 留意事項等

- ・ 本調査は、インターネットの登録モニターを対象とした調査であり、全国又は地域別の統計量を推定するためのものではなく、本調査の結果には調査対象者に特有の誤差が含まれ得るものとなっている。
- ・ 本調査の集計・分析にあたっては、上記のような調査の特性を踏まえて、独身者調査については結婚意向別^{※1}の状況、有配偶者調査については持つつもりの子どもの数^{※2}別の状況を中心に、調査対象者の意識把握等を行うこととした。

5. 調査結果をみる上での注意事項

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の割合（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

※1. 結婚意向別…いずれ結婚するつもりと答えた者、一生結婚するつもりはないと答えた者別

※2. 持つつもりの子どもの数…現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

I. 独身者調査

(1) 独身でいる理由

- ・ 結婚意向ありの者の回答 1位、2位、3位 5 Page
- ・ 結婚意向なしの者の回答 1位、2位、3位 8

(2) 異性との交際

- ・ 交際経験 11
- ・ 現在の異性との交際状況 12
- ・ 交際相手と知り合ったきっかけ 13

(3) 結婚希望年齢 14

(4) 結婚・出産後の仕事の意向 15

(5) 両親との同別居

- ・ 父親、母親 16

II. 有配偶者調査

(1) 理想的な子どもの数 19

(2) 持つつもりの子どもの数が理想的な子どもの数より 少ない理由

- ・ 1位、2位、3位 20

(3) 出産、育児に際しての不安や苦勞

- ・ 1位、2位、3位 23

(4) 夫の家事・育児に関する自己評価と妻の満足度

- ・ 夫の家事について 26 Page
- ・ 夫の育児について 27

(5) 親の居住地と持つつもりの子どもの数

- ・ 有配偶者(本人)の父親、母親 28
- ・ 配偶者の父親、母親 30

(6) 人口移動と子どもの数

- ・ 結婚持続期間15年以上 32
- ・ 結婚持続期間別 33

<参考> 出生動向基本調査との比較等

- 独身者調査 35
- 有配偶者調査 40

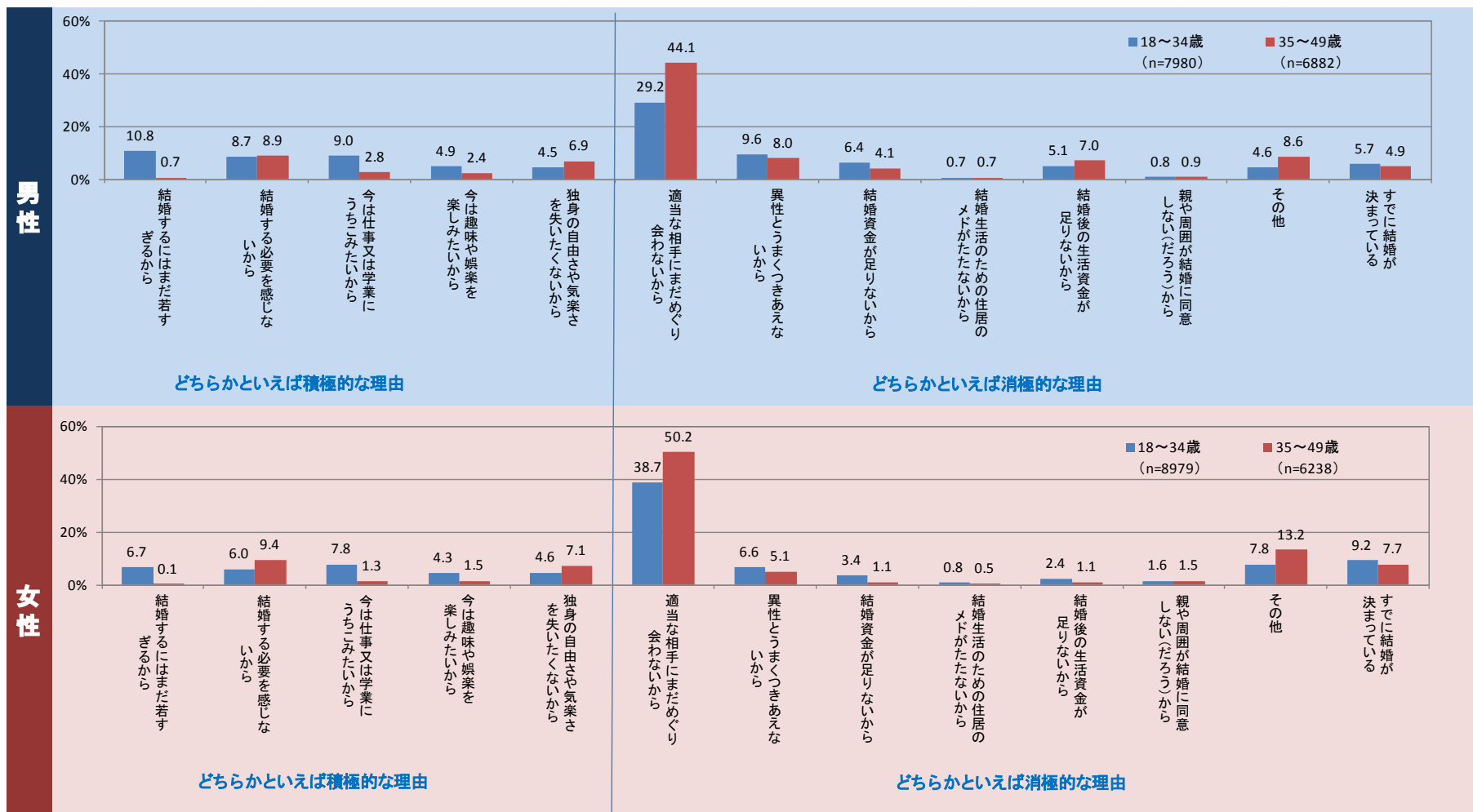
<付表>

- 調査票 50

Ⅱ. 独身者調査

男女とも独身でいる理由 1位は「適当な相手にまだめぐり会わないから」

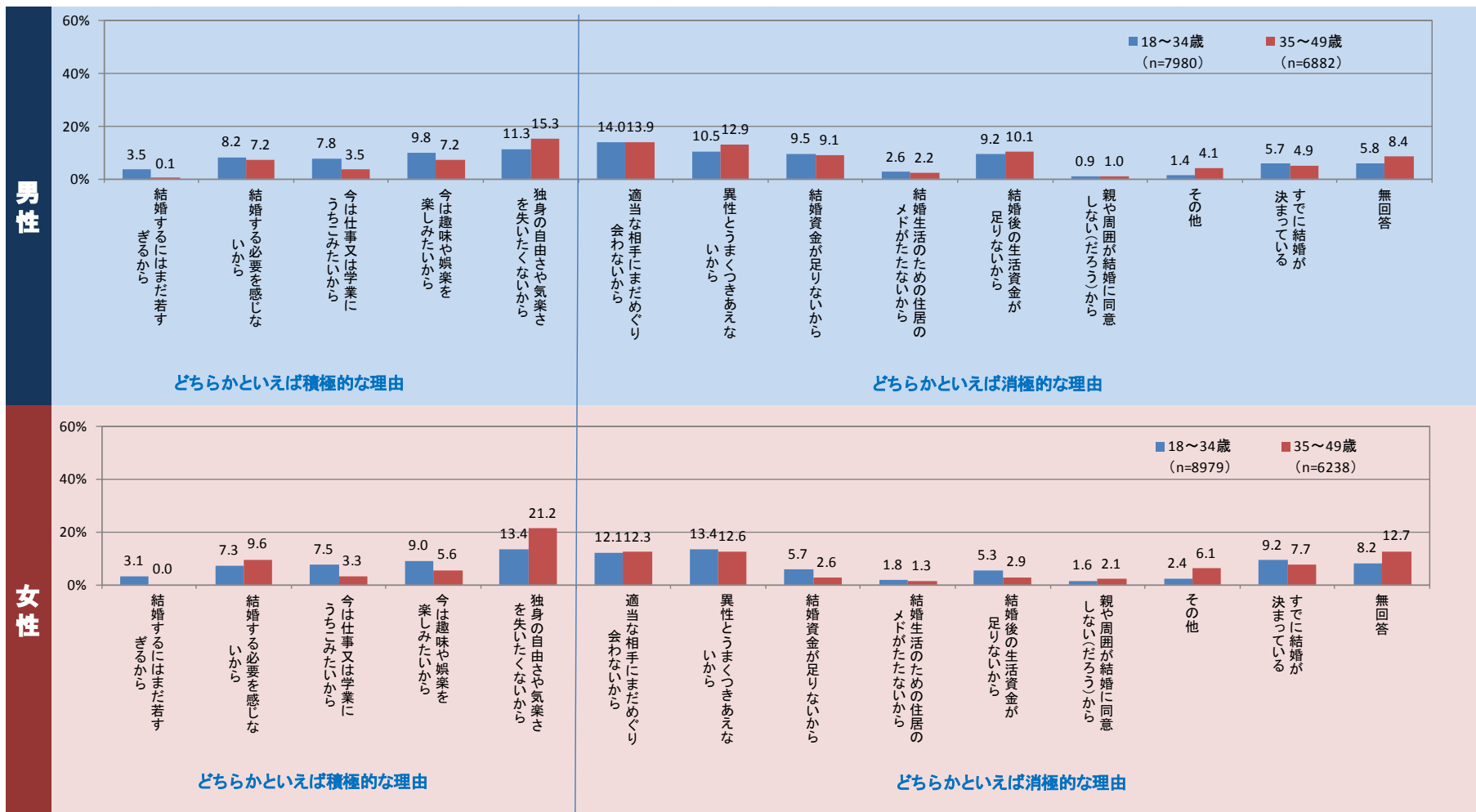
独身者に、現在、独身でいる理由をたずねた。結婚意向ありの者について、1位にあげられた理由を性・年代別に見ると、どの区分においても「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高かった。特に35～49歳では4～5割と高くなっている（男性44.1%、女性50.2%）。



注) 結婚意向あり：結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

独身でいる理由 2位は 男性では経済的な理由も一定程度みられる

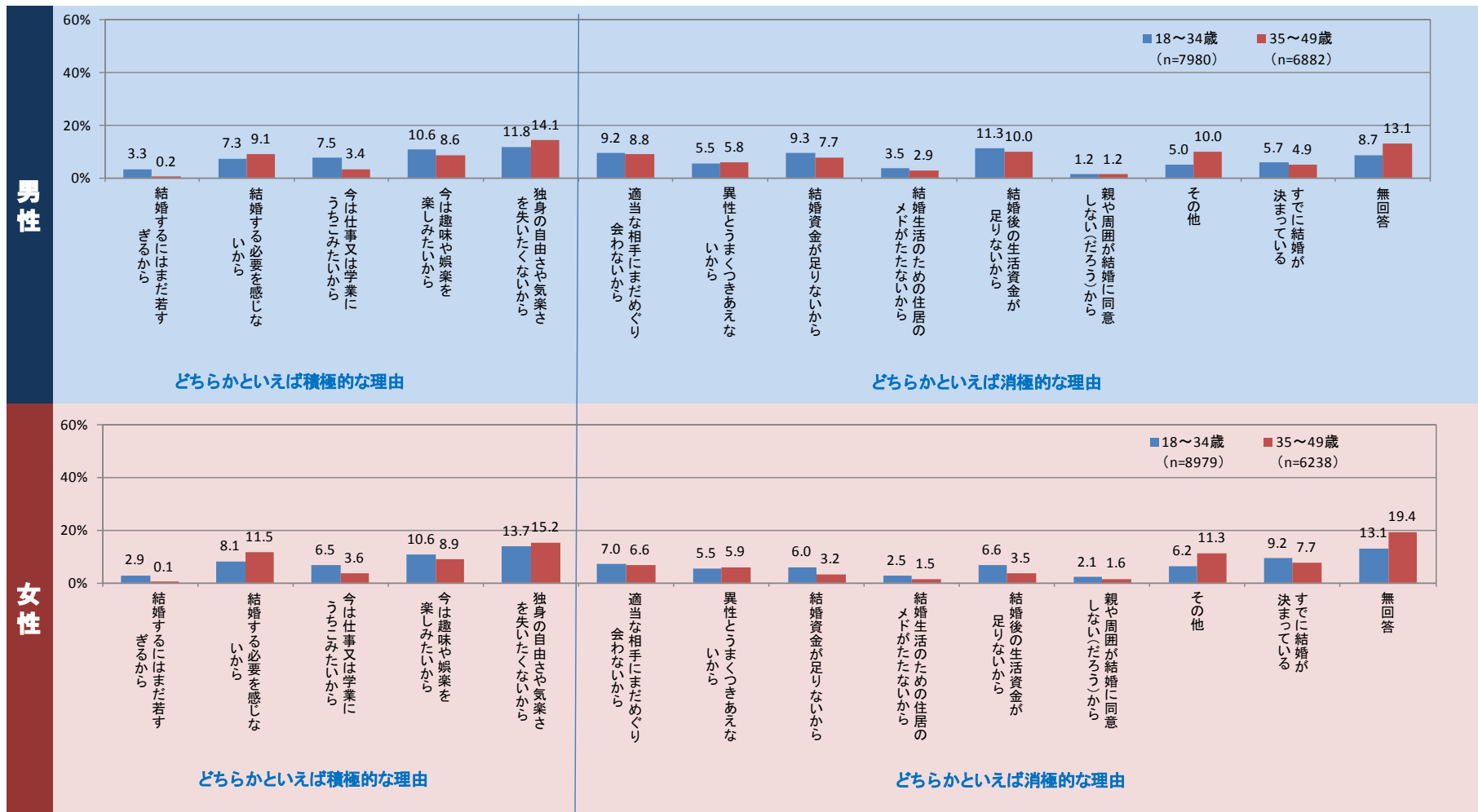
次に独身でいる理由2位を見ると、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「適当な相手にまだめぐり合わないから」「異性とうまくつきあえないから」をあげる割合がそれぞれ1割程度となっているが、男性で「結婚資金が足りないから」「結婚後の生活資金が足りないから」をあげる割合がそれぞれ1割程度と、経済的な理由も上昇している。



注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

独身でいる理由 3位は男性では「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」と「結婚後の生活資金が足りないから」が同程度の水準

独身でいる理由3位も、2位と同様に「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」をあげる割合が高いが、男性では「結婚後の生活資金が足りないから」と経済的な理由が、18~34歳で11.3%、35~49歳で10.0%となっている。

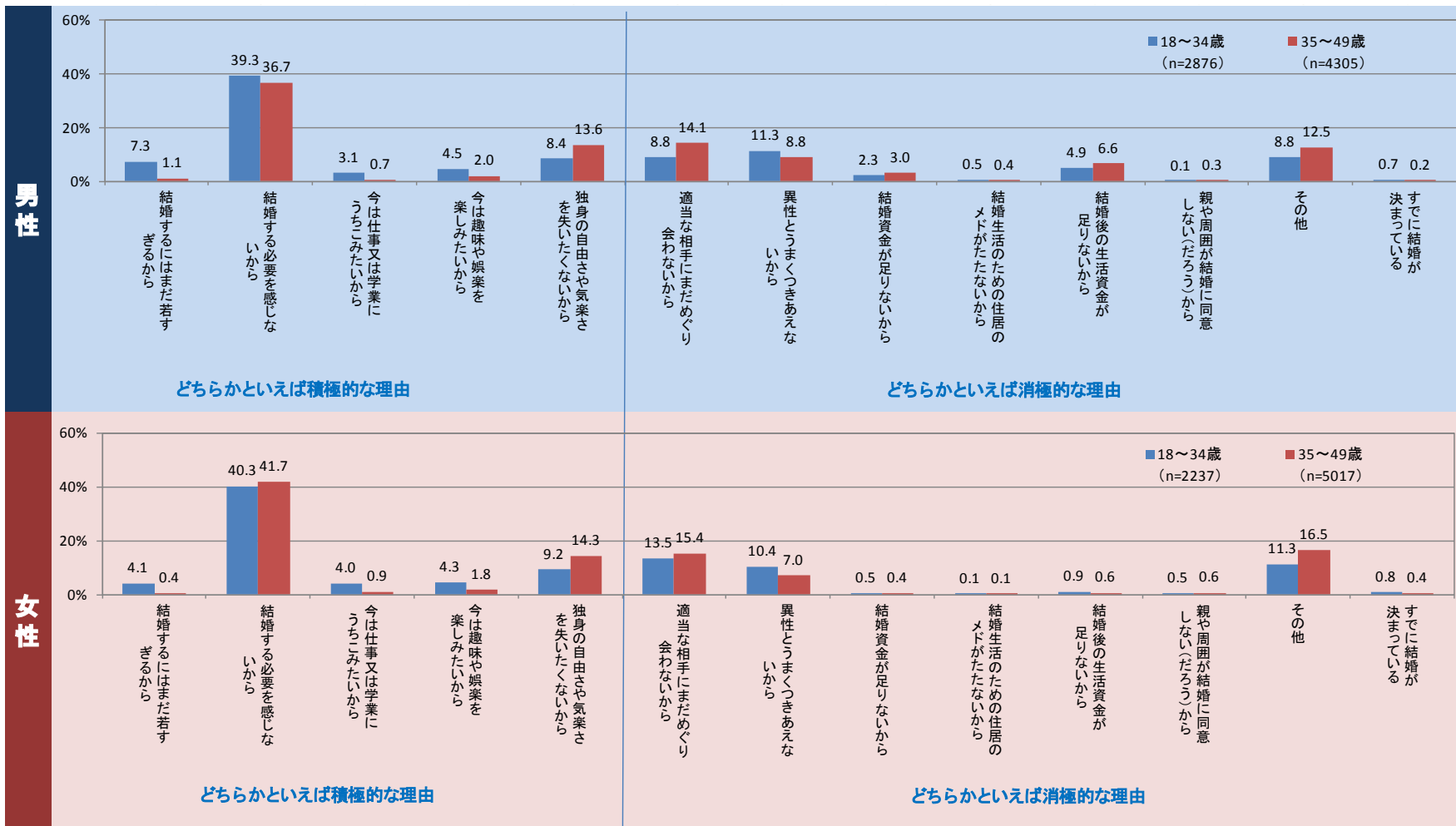


注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

**男女とも独身でいる理由 1位は「結婚する必要を感じないから」
但し、「適当な相手にまだめぐりあわないから」等の割合も一定程度みられる**

次に、結婚意向なしの者について、独身でいる理由 1位を見ると「結婚する必要を感じないから」をあげる割合が、性・年代別どの区分においても4割程度と高い（18～34歳男性で39.3%、35～49歳男性で36.7%、18～34歳女性で40.3%、35～49歳女性41.7%）。

但し、結婚意向なしの者でも、「適当な相手にまだめぐり合わないから」「異性とうまくつきあえないから」「今は趣味や娯楽を楽しみたいから」を挙げる割合が一定程度あり、きっかけがあれば結婚意向が生じる可能性もうかがえる。



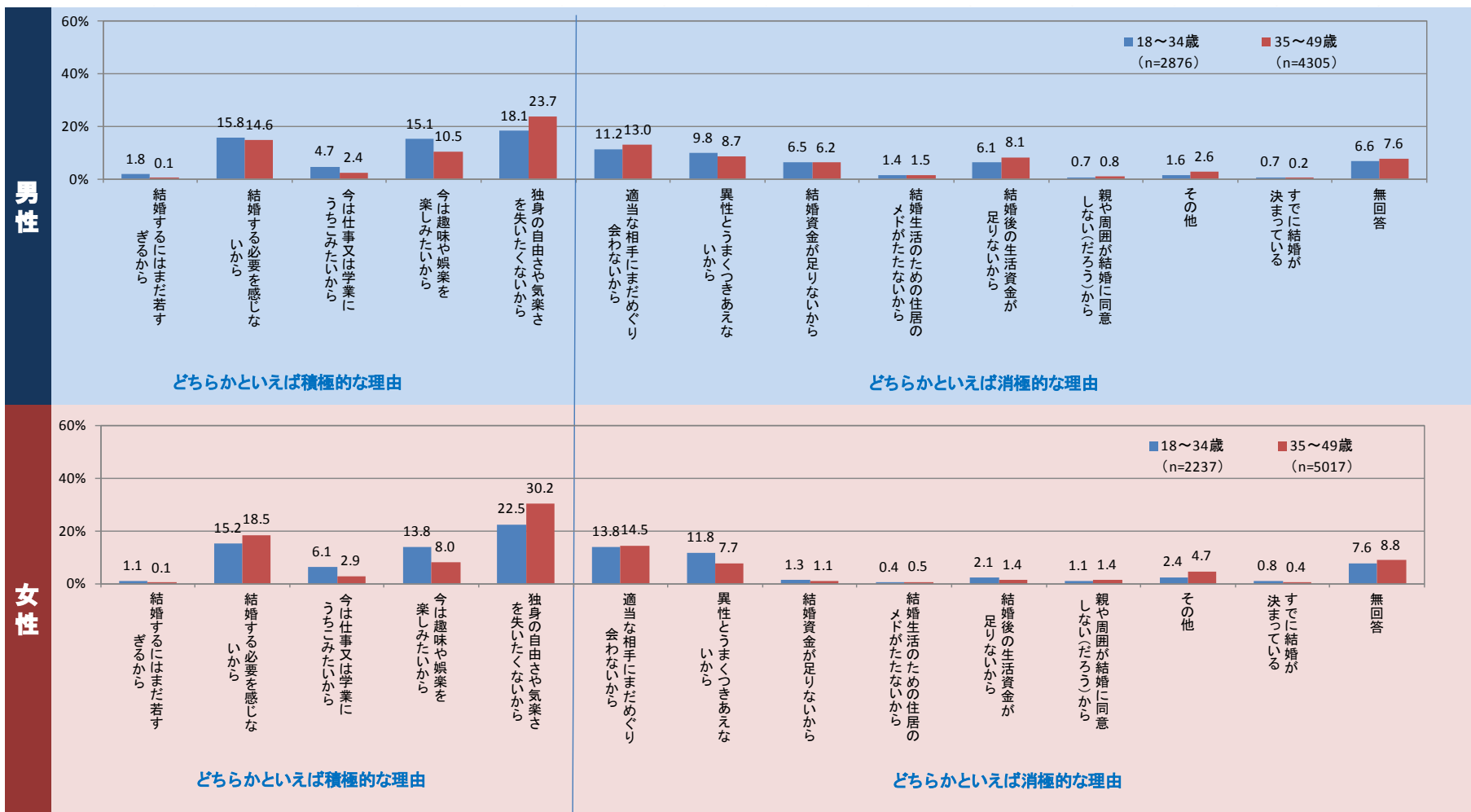
注) 結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

I. 独身者調査

(1) 独身でいる理由 2位 ～結婚意向なしの者の回答～

独身でいる理由 2位は「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」

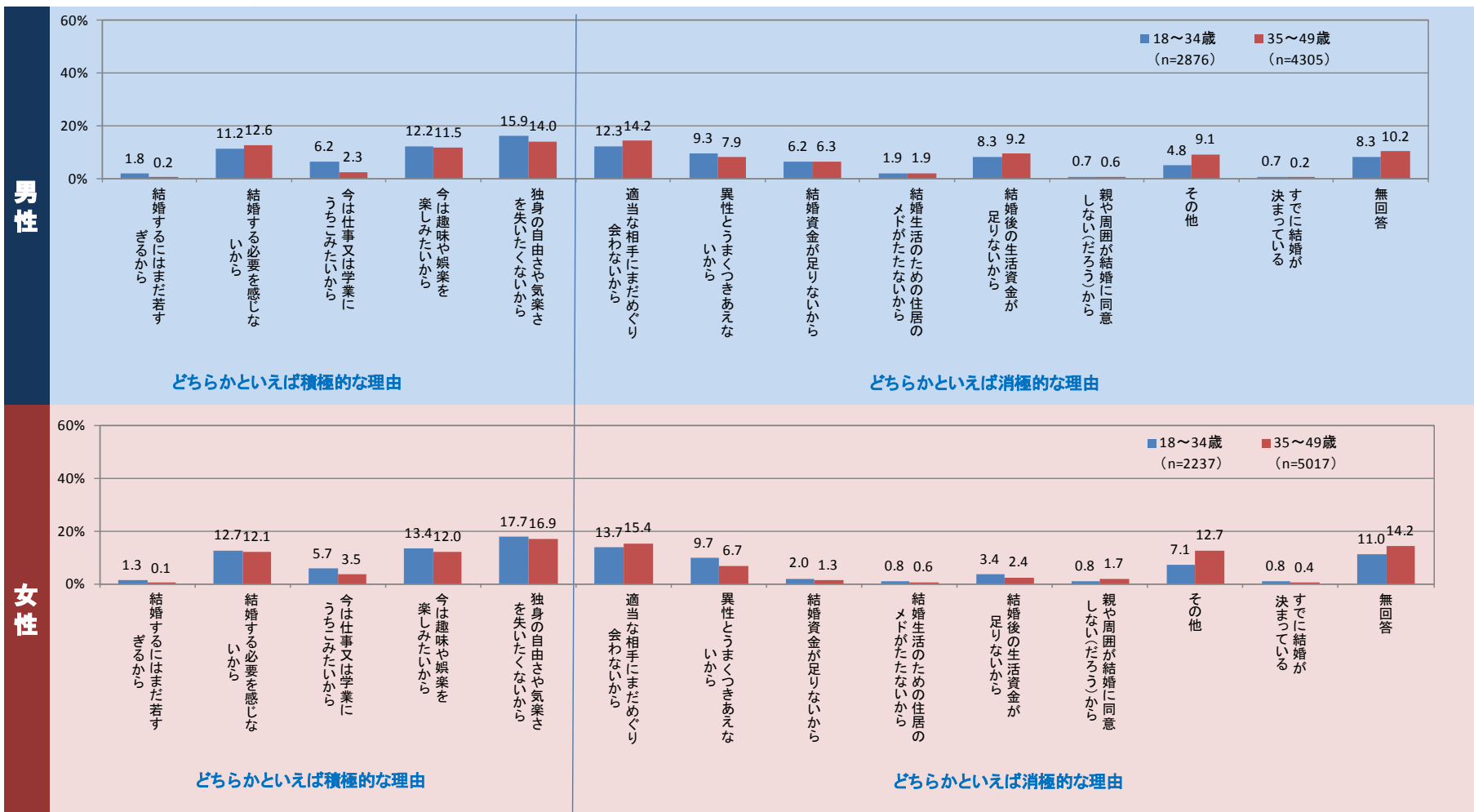
次いで、独身でいる理由 2位を見ると、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」の割合が18～34歳男性で18.1%、35～49歳男性23.7%、18～34歳女性で22.5%、35～49歳女性で30.2%と最も高く、次いで「結婚するの必要を感じないから」が1位の割合よりも低いものの、男女ともに1～2割程度となっている。一方、1位と同様に「適当な相手にまだめぐり会わないから」「異性とうまくつきあえないから」「今は趣味や娯楽を楽しみたいから」をあげる者もいる。



注) 結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

独身でいる理由 3位としては様々な理由があげられている

独身でいる理由 3位を見ると、2位での割合より低いものの「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」と回答する割合が、性・年代別のどの区分においても1~2割弱と高い。一方、「適当な相手にまだめぐり会わないから」をあげるものも1割強おり、適当な相手がいれば結婚意向を変える可能性もうかがえる。男性では「結婚後の生活資金が足りないから」と経済的理由をあげるものもある（18~34歳で8.3%、35~49歳で9.2%）。

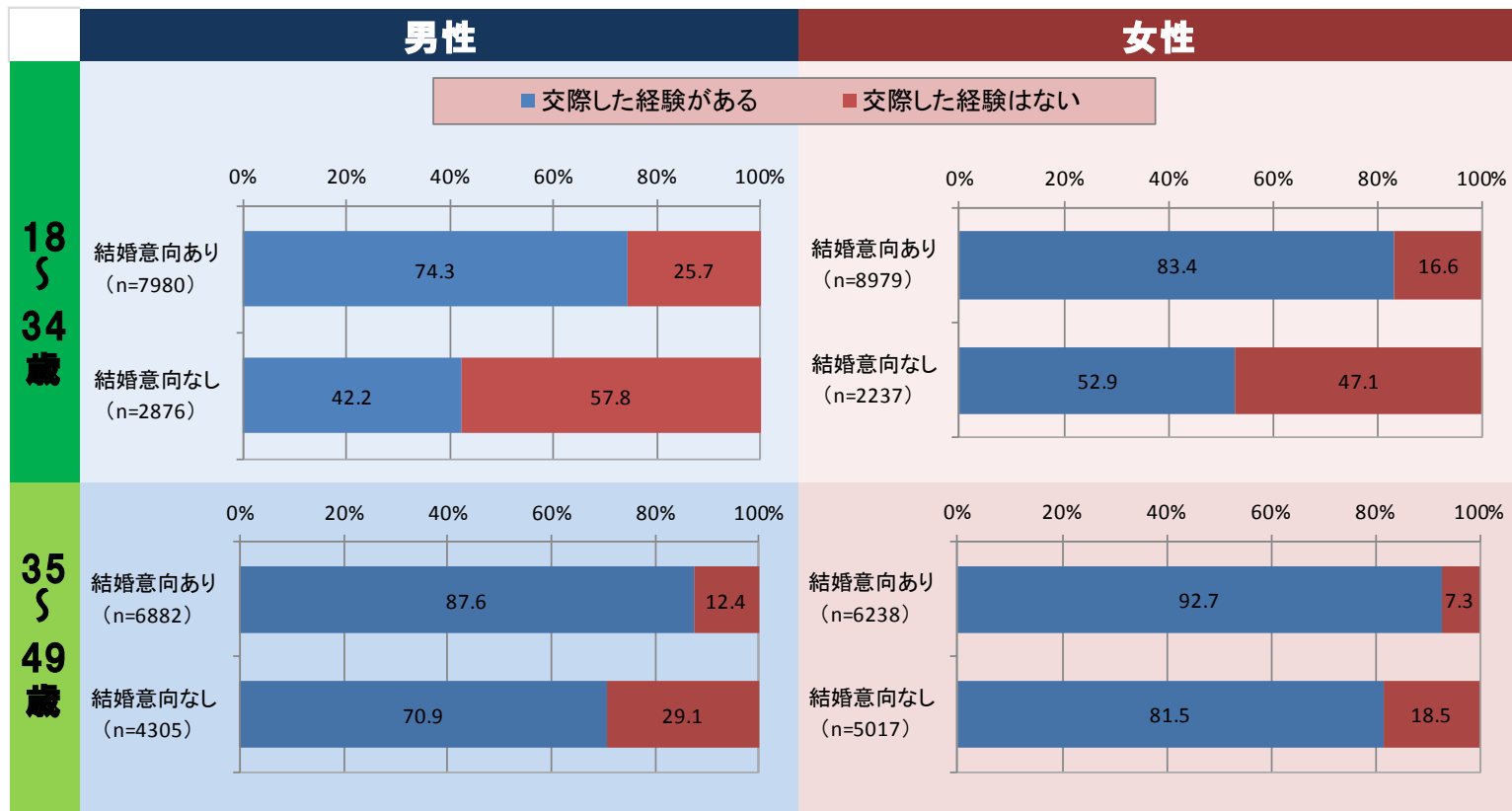


注) 結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

交際経験と結婚意向の関係は18～34歳で顕著

交際経験ありは 結婚意向ありで 7～8割、結婚意向なしで 4～5割

これまでに異性と交際した経験があるかをたずねた。性・年代別に見ると、結婚意向ありの者の方が結婚意向なしの者よりも「交際した経験がある」と回答した割合が高くなっている。特に、18～34歳については、結婚意向ありの者のうち7～8割程度（男性74.3%、女性83.4%）が「交際した経験がある」と回答している。一方、18～34歳の結婚意向なしの者では、男女ともに「交際した経験がある」は4～5割程度（男性42.2%、女性52.9%）となっている。異性との交際経験と結婚意向との間に一定の関係があることがうかがえる。

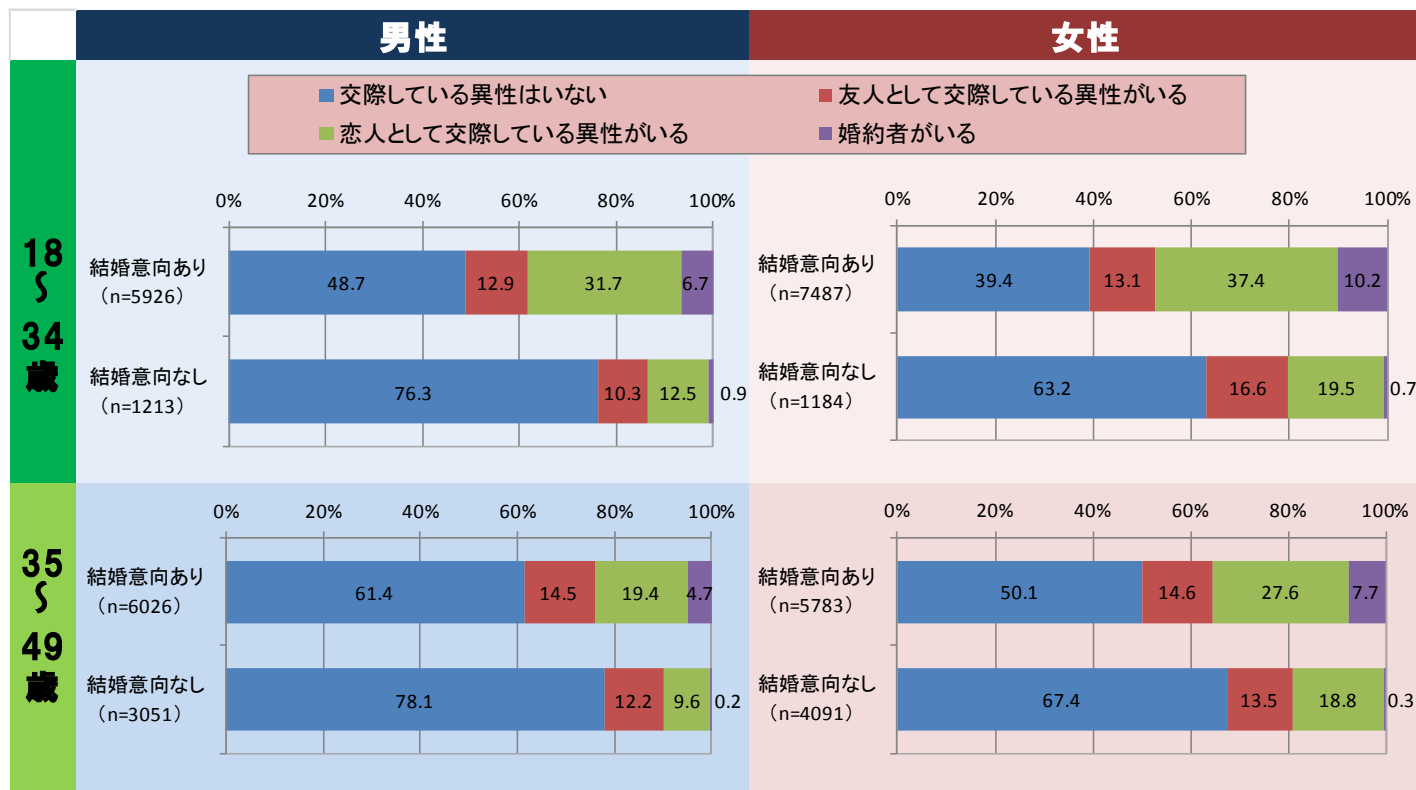


注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者
結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

18～34歳で恋人がいる割合は、結婚意向ありでは3～4割、結婚意向なしでは2割以下

異性との交際経験がある独身者に、現在の異性との交際状況を聞いた。「恋人として交際している異性がいる」について18～34歳では、結婚意向ありで3～4割程度（男性で31.7%、女性で37.4%）と高く、結婚意向なしでは、2割以下（男性で12.5%、女性で19.5%）と低い。35～49歳においても、18～34歳の割合より差は大きくないものの、結婚意向ありで2～3割程度（男性19.4%、女性27.6%）、結婚意向なしでは1～2割程度（男性9.6%、女性18.8%）となっている。

また、「交際している異性はいない」について、結婚意向なしでは6～8割程度（18～34歳では男性76.3%、女性63.2%、35～49歳では男性78.1%、女性67.4%）と、結婚意向あり（18～34歳では男性48.7%、女性39.4%、35～49歳では男性61.4%、女性50.1%）より高い。



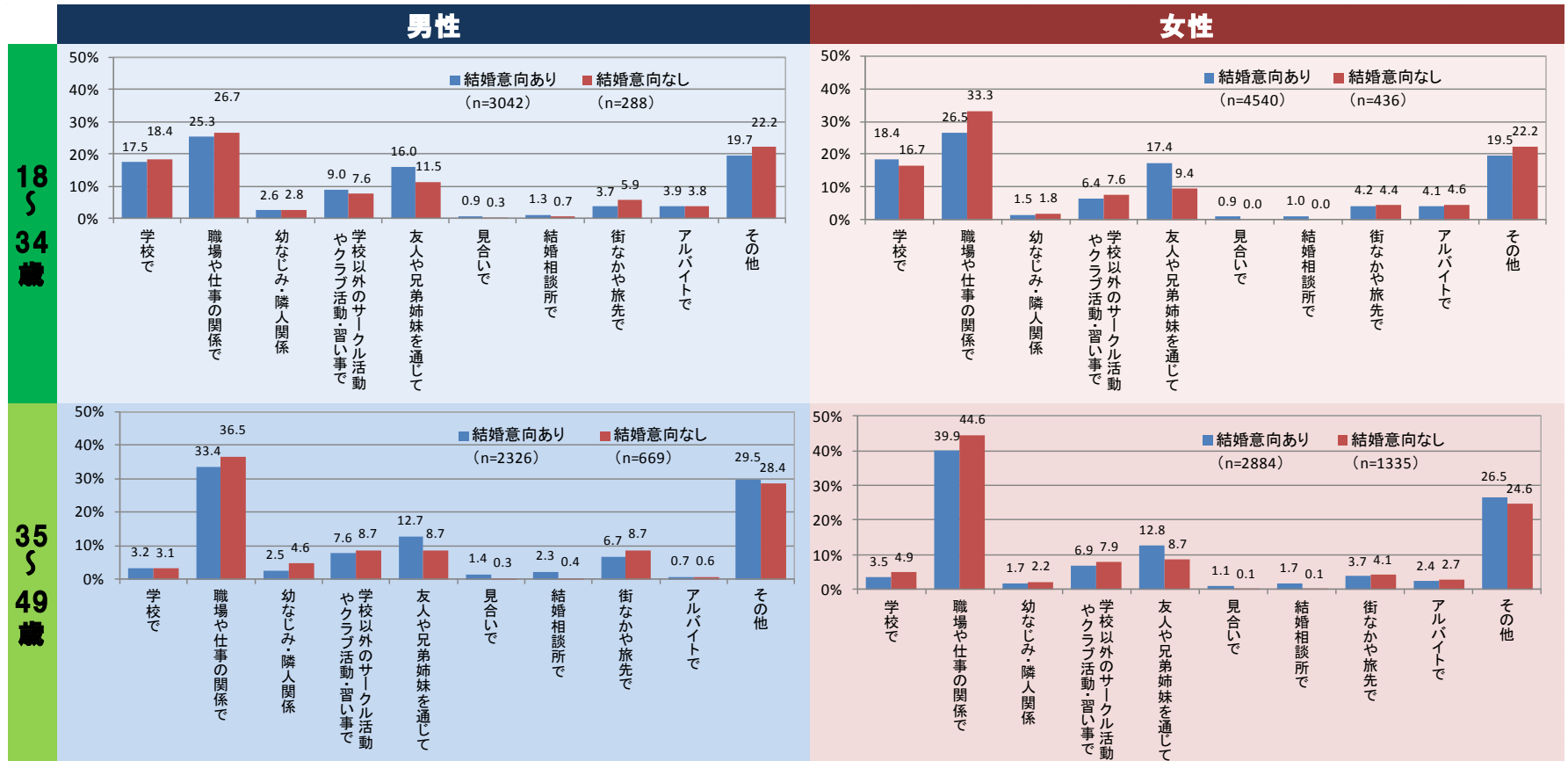
注) 対象は、「交際している異性がいる」と回答した独身者

注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

出会いの場所は「職場や仕事の関係で」

交際相手と知り合ったきっかけについて、結婚意向の有無、性別、年代に係らず、「職場や仕事の関係で」をあげる割合が3～4割と最も高い。次いで18～34歳では「学校で」「友人や兄弟姉妹を通じて」、35～49歳では「友人や兄弟姉妹を通じて」「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事」などとなっている。「その他」を除く、上位三つのきっかけで全体の6割を占め、日常的な場での出会いが多数を占めている。



注) 対象は、「交際している異性がいる」と回答した独身者

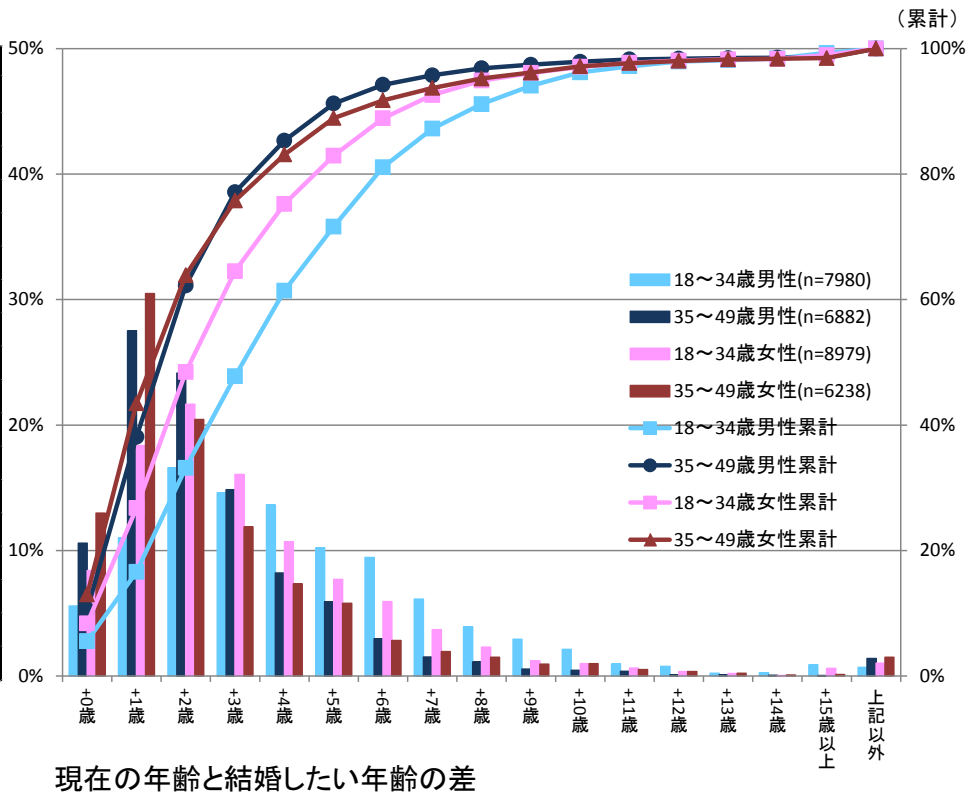
注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

結婚希望年齢は現在の年齢+4~6歳程度までが多い

結婚意向ありの男女に何歳ぐらいで結婚をしたいかをたずねた。
 その回答と現在の年齢との差を算出すると、18~34歳については、男性で概ね「現在の年齢+6歳程度以内」、女性では概ね「現在の年齢+5歳程度以内」、35~49歳については、男女とも「現在の年齢+4歳程度以内」で8割を占める結果となっている。

現在の年齢と結婚したい年齢の差	男性		女性		男性累計		女性累計	
	18~34歳 (n=7980)	35~49歳 (n=6882)	18~34歳 (n=8979)	35~49歳 (n=6238)	18~34歳 (n=7980)	35~49歳 (n=6882)	18~34歳 (n=8979)	35~49歳 (n=6238)
+0歳	5.6%	10.6%	8.4%	13.0%	5.6%	10.6%	8.4%	13.0%
+1歳	11.0%	27.5%	18.4%	30.5%	16.6%	38.1%	26.8%	43.5%
+2歳	16.6%	24.1%	21.7%	20.4%	33.2%	62.2%	48.4%	63.9%
+3歳	14.6%	14.9%	16.1%	11.9%	47.8%	77.1%	64.5%	75.8%
+4歳	13.6%	8.2%	10.7%	7.3%	61.4%	85.3%	75.2%	83.1%
+5歳	10.2%	5.9%	7.7%	5.8%	71.6%	91.2%	82.9%	88.9%
+6歳	9.5%	3.0%	5.9%	2.8%	81.1%	94.2%	88.9%	91.8%
+7歳	6.1%	1.5%	3.7%	2.0%	87.2%	95.7%	92.6%	93.7%
+8歳	3.9%	1.1%	2.3%	1.5%	91.1%	96.9%	94.9%	95.2%
+9歳	2.9%	0.6%	1.2%	0.9%	94.1%	97.4%	96.1%	96.2%
+10歳	2.1%	0.5%	1.0%	1.0%	96.2%	97.9%	97.1%	97.2%
+11歳	1.0%	0.4%	0.6%	0.5%	97.2%	98.3%	97.7%	97.7%
+12歳	0.8%	0.1%	0.4%	0.4%	97.9%	98.4%	98.1%	98.0%
+13歳	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	98.2%	98.5%	98.3%	98.3%
+14歳	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	98.4%	98.5%	98.4%	98.4%
+15歳以上	0.9%	0.0%	0.6%	0.1%	99.3%	98.6%	99.0%	98.5%
上記以外	0.7%	1.4%	1.0%	1.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

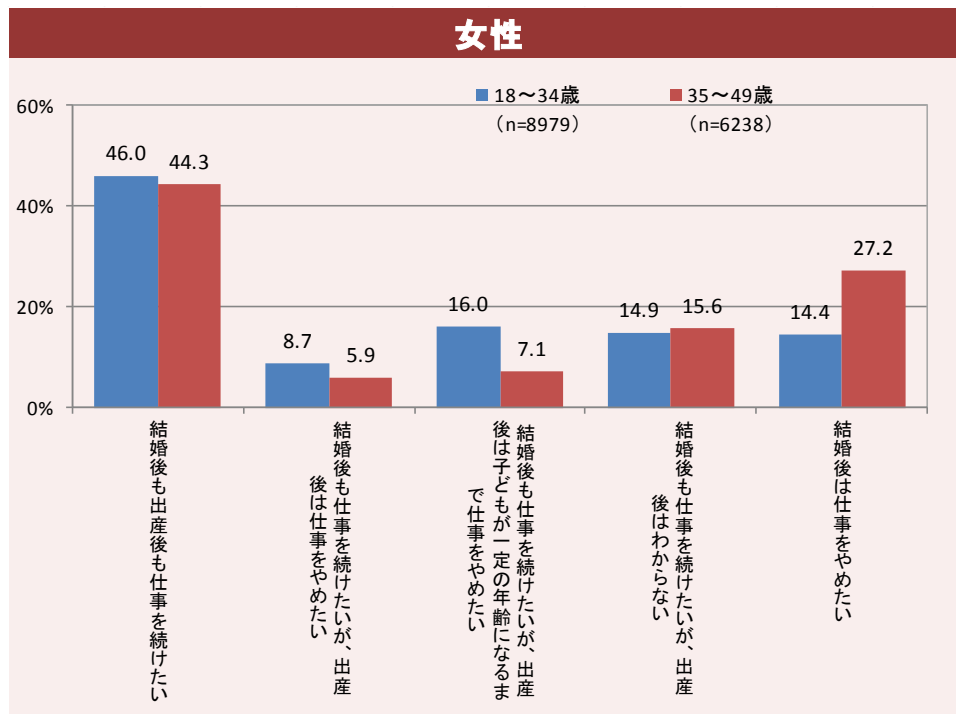


注) 結婚希望年齢・・・「50歳以上」は50歳として算出。

注) 対象: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者
 注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

約半数が結婚後も出産後も仕事を続けたいと考えている

結婚意向ありの女性に、結婚・出産後の仕事の意向をたずねると、「結婚後も出産後も仕事を続けたい」と回答する割合が18～34歳で46.0%、35～49歳で44.3%と最も高い。一方「結婚後は仕事をやめたい」の割合は18～34歳で14.4%、35～49歳で27.2%となっている。

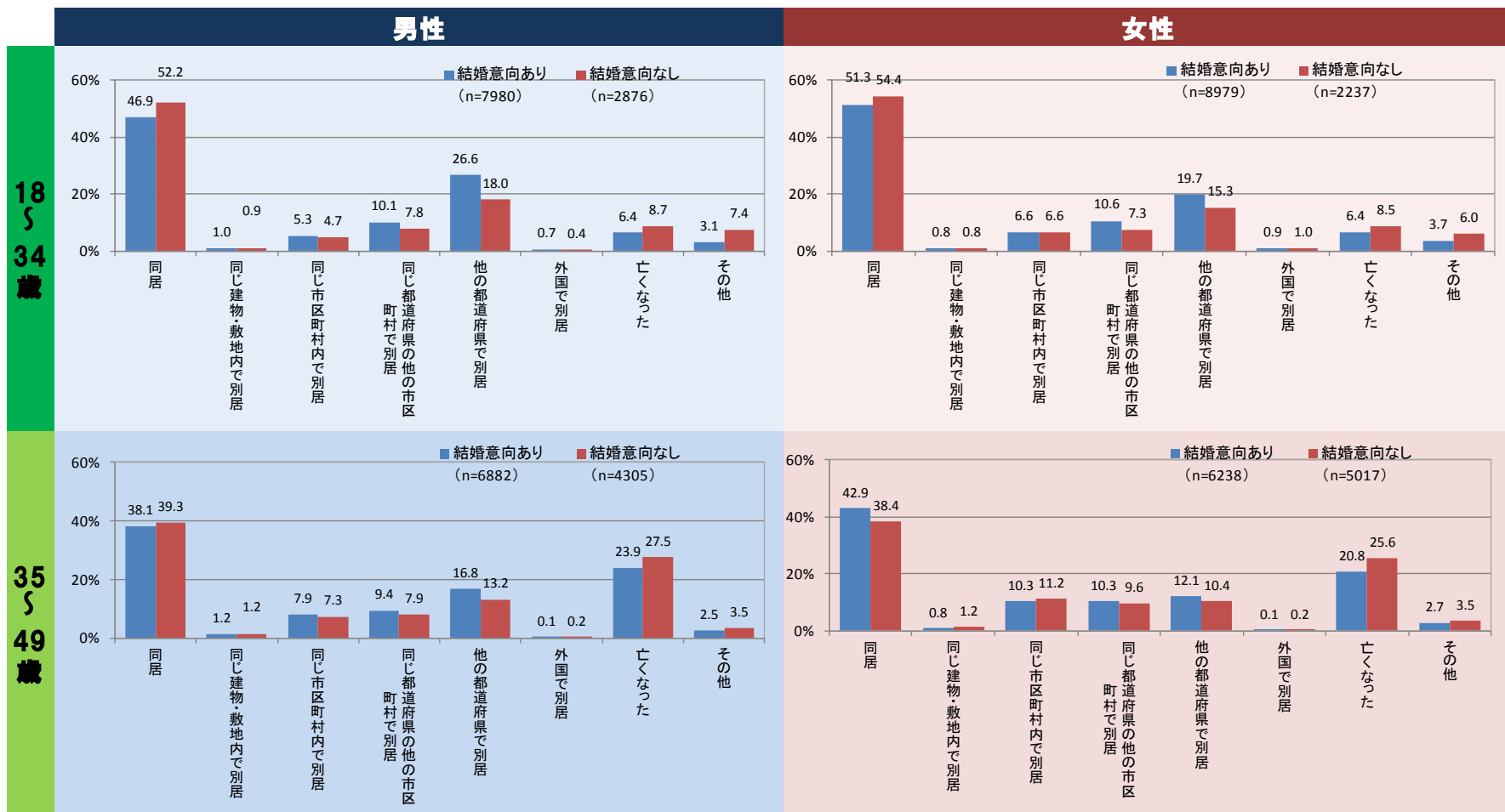


注) 対象: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した女性

注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者

結婚意向なしの方が父親との同居割合がやや高い傾向

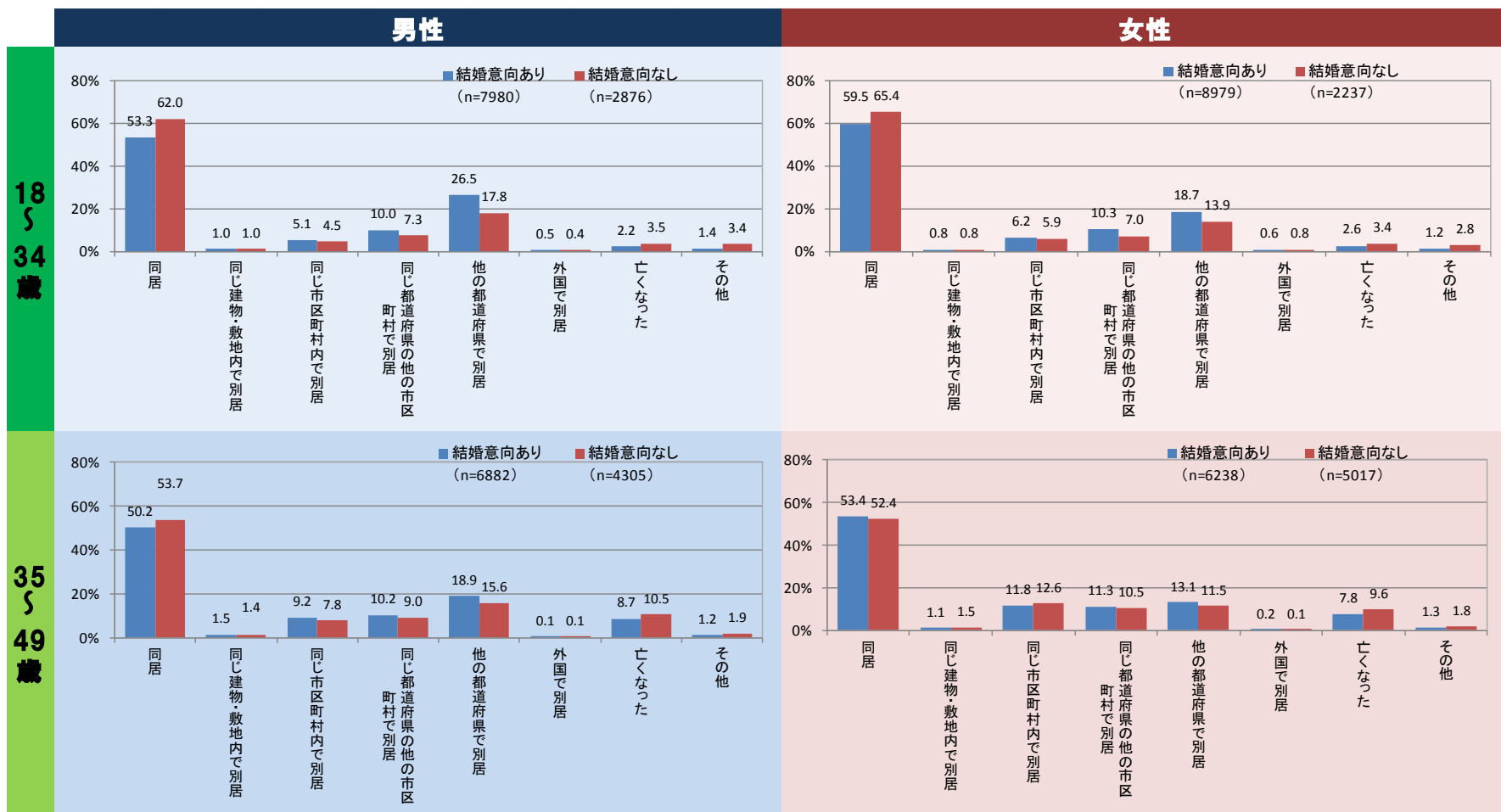
父親の居住地をみると、「同居」している割合は、結婚意向なしの者は結婚意向ありの者よりも父親と同居している割合が高く、別居している割合が低い傾向にある。35～49歳女性では、結婚意向あり、結婚意向なしで傾向差はみられない。



注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者
結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

結婚意向なしの方が母親との同居割合がやや高い傾向

母親の居住地をみると、「同居」している割合は、結婚意向なしの者は結婚意向ありの者よりも母親と同居している割合が高く、別居している割合が低い傾向にある。35～49歳女性では、結婚意向あり、結婚意向なしで傾向差はみられない。



注) 結婚意向あり: 結婚意向に関する設問で、「いずれ結婚するつもり」と回答した者
結婚意向なし: 結婚意向に関する設問で、「一生結婚するつもりはない」と回答した者

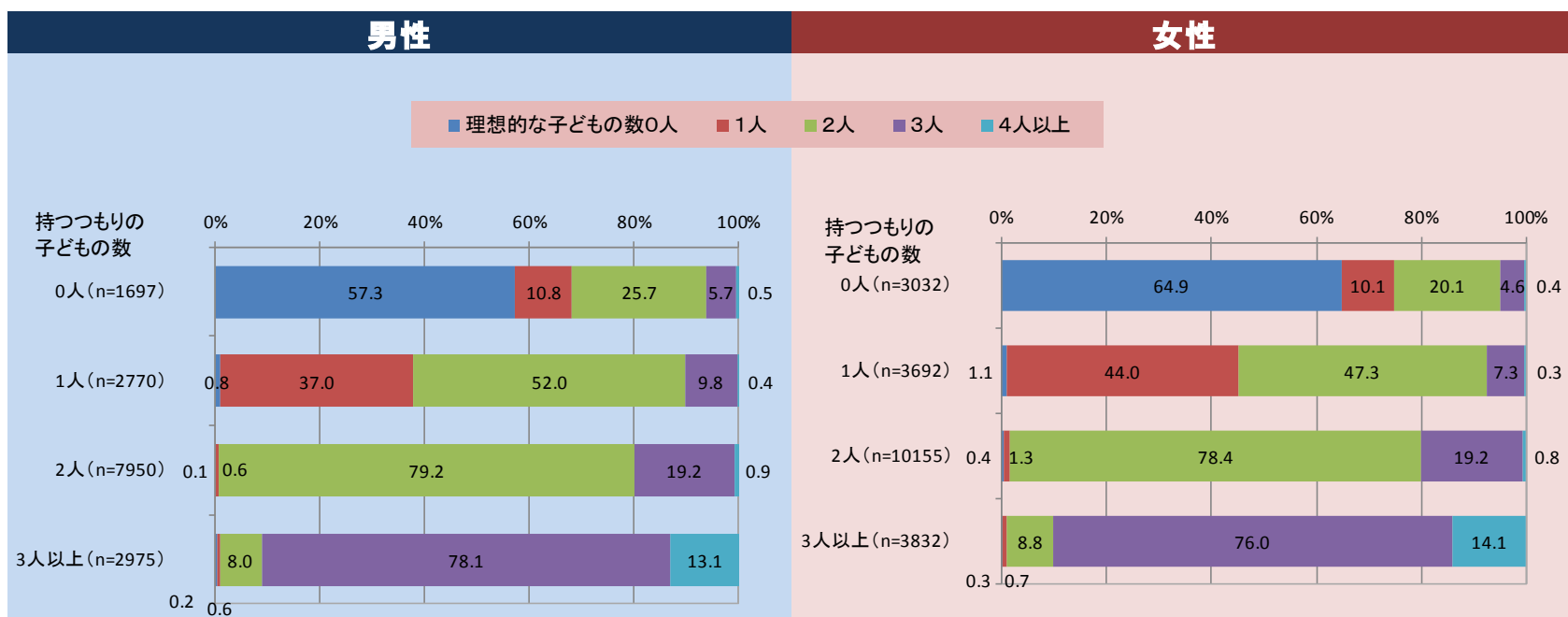
II. 有配偶者調査

持つつもりの子どもの数1人でも 理想は2人とする割合が高い

現在の夫婦にとって理想的な子どもの数を聞いた。男女とも、持つつもりの子どもの数1人では「理想的な子どもの数2人」と回答している割合が5割程度と最も高い（男性52.0%、女性47.3%）。

また、持つつもりの子どもの数2人では、「理想的な子どもの数2人」が8割程度（男性79.2%、女性78.4%）、持つつもりの子どもの数3人以上では、「理想的な子どもの数3人」と回答した割合が8割程度（男性78.1%、女性76.0%）と高い。

なお、持つつもりの子どもの数0人では「理想的な子どもの数0人」と回答した割合が6割程度（男性57.3%、女性64.9%）と最も高いが、他方で「理想的な子どもの数1人」が1割程度、「2人」が2～3割程度など、4割程度は「1人」以上の子ども数を理想的としている。

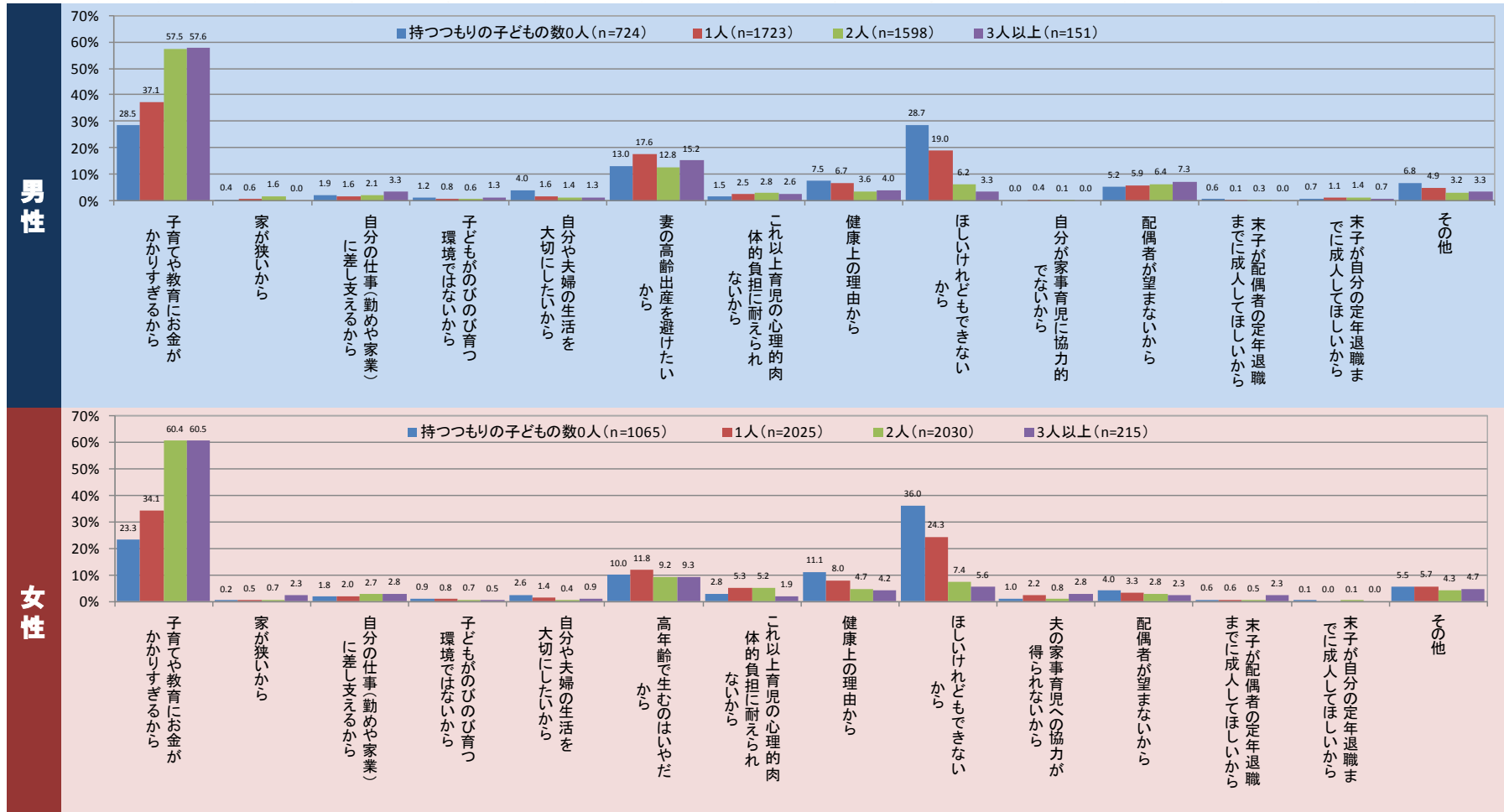


注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

Ⅱ. 有配偶者調査 (2) 持つつもりの子どもの数が理想的な子どもの数より少ない理由 1位

理由 1位は 持つつもりの子どもの数0人では「ほしいけれどもできないから」 持つつもりの子どもの数1人以上では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」

持つつもりの子どもの数が理想的な子どもの数より少ない理由をたずねた。その1位は、男女ともに、持つつもりの子どもの数0人の場合には、「ほしいけれどもできないから」をあげる割合が高く（男性28.7%、女性36.0%）、持つつもりの子どもの数1人、2人、3人以上では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」をあげる割合（男性で持つつもりの子どもの数1人 37.1%、2人 57.5%、3人以上 57.6%、女性で持つつもりの子どもの数1人 34.1%、2人 60.4%、3人以上 60.5%）が高く、また、子どもの数が増える程、その理由を挙げる割合が高くなる傾向にある。



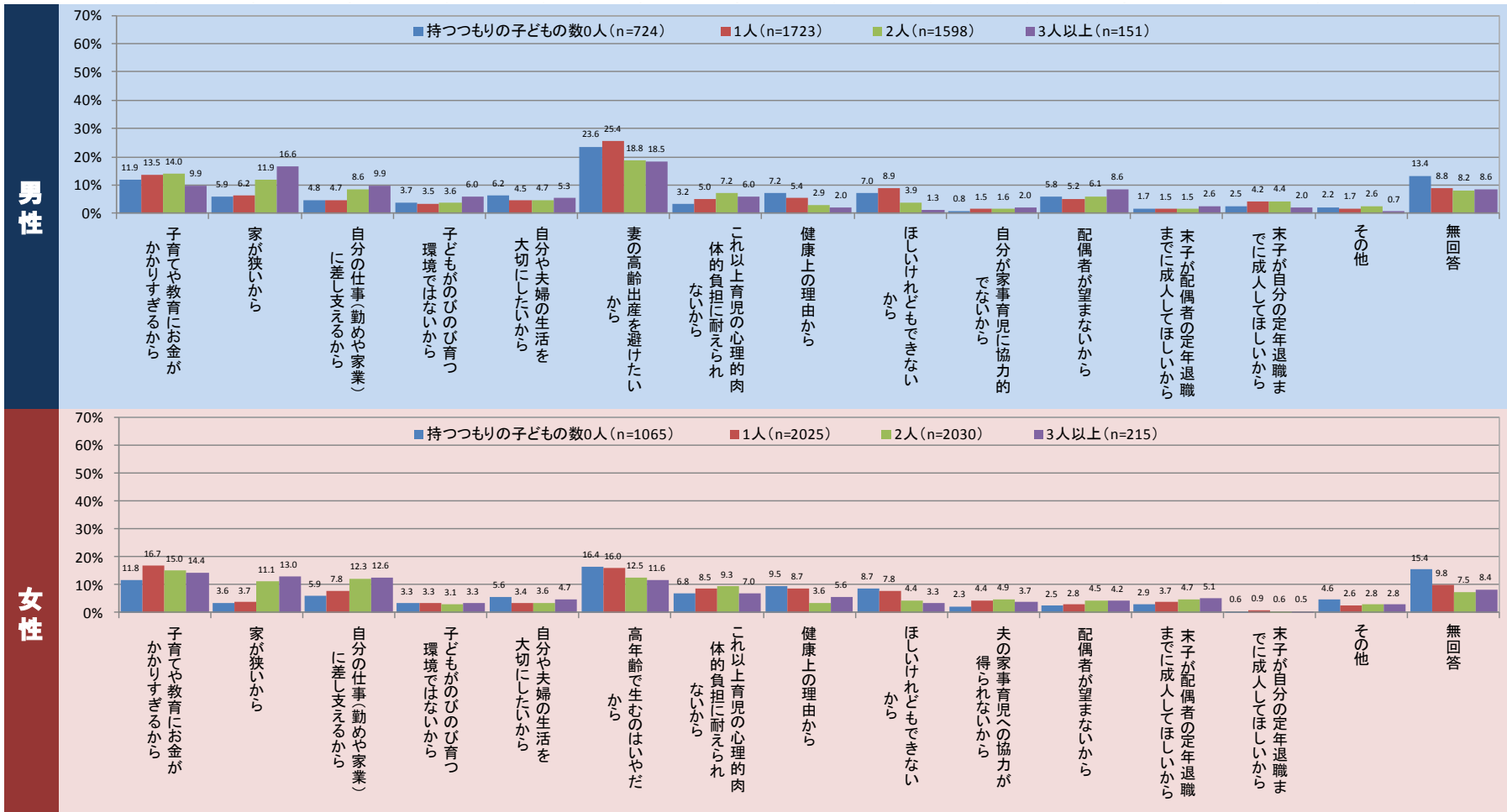
※有配偶者に現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数、及び、理想的な子どもの数を聞いた結果、最終的に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少なかった回答者を対象に、その理由を聞いた。

II. 有配偶者調査 (2) 持つつもりの子どもの数が理想的な子どもの数より少ない理由 2位

理由 2位は 男性では「妻の高齢出産を避けたいから」

持つつもりの子どもの数3人以上では「家が狭いから」とする割合も高い

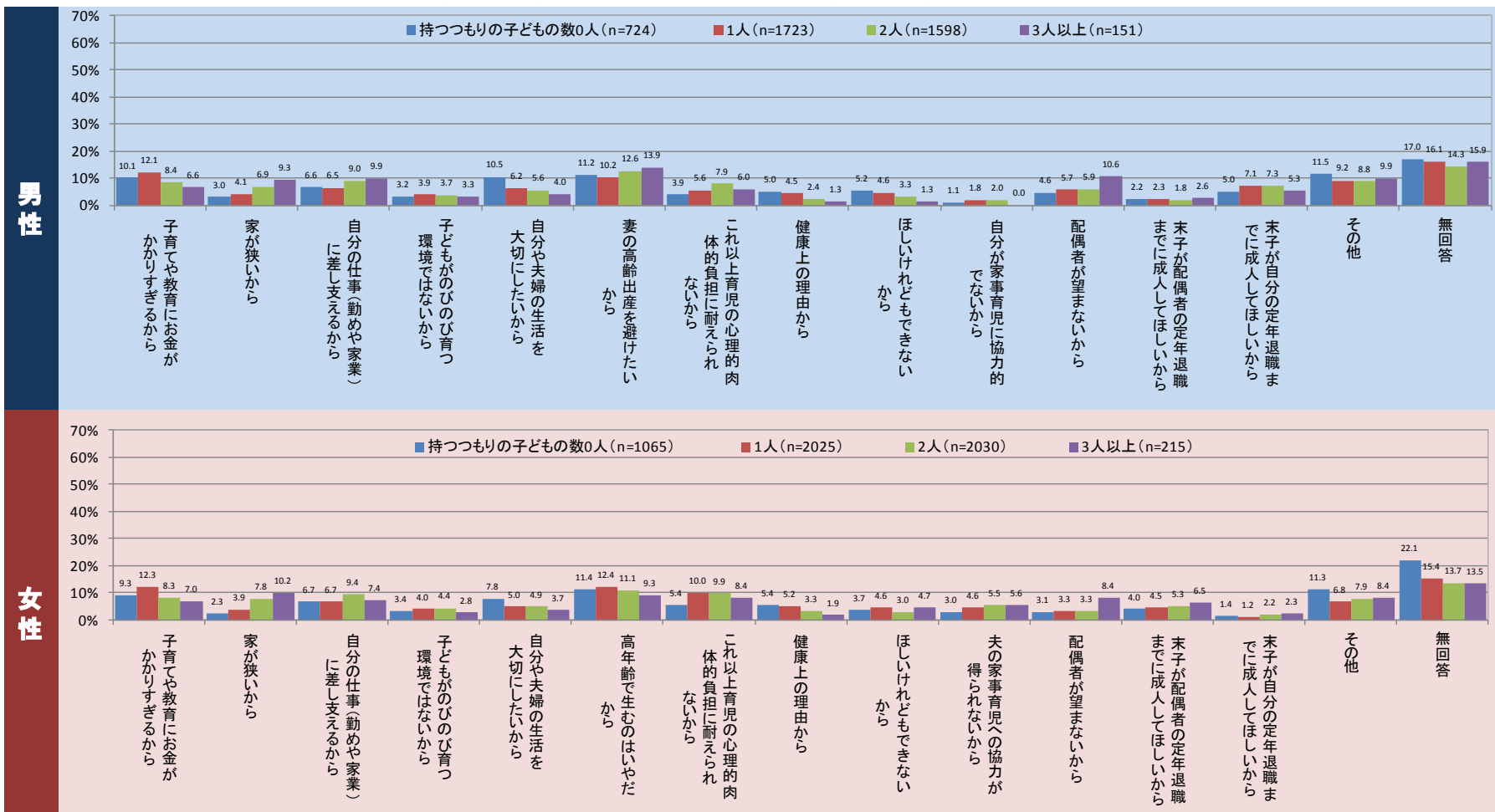
次いで、理由 2位としては男性では「妻の高齢出産を避けたいから」をあげる割合が2~3割と最も高く（男性で、持つつもりの子どもの数0人で23.6%、1人で25.4%、2人で18.8%、3人以上で18.5%）、持つつもりの子どもの数1人、2人、3人以上の女性では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」をあげる割合が最も高い。また、持つつもりの子どもの数3人以上では、「家が狭いから」が男性16.6%、女性13.0%となっている。



※有配偶者に現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数、及び、理想的な子どもの数を聞いた結果、最終的に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少なかった回答者を対象に、その理由を聞いた。

理由 3位は「妻の高齢出産を避けたいから/高齢で生むのはいやだから」

理由 3位としては、男性は「妻の高齢出産を避けたいから」、女性では「高齢で生むのはいやだから」をあげる割合が2位の割合よりも低いものの、最も高い（男性で、持つつもりの子どもの数0人で11.2%、1人で10.2%、2人で12.6%、3人以上で13.9%、女性で、持つつもりの子どもの数0人で11.4%、1人で12.4%、2人で11.1%、3人以上で9.3%）。

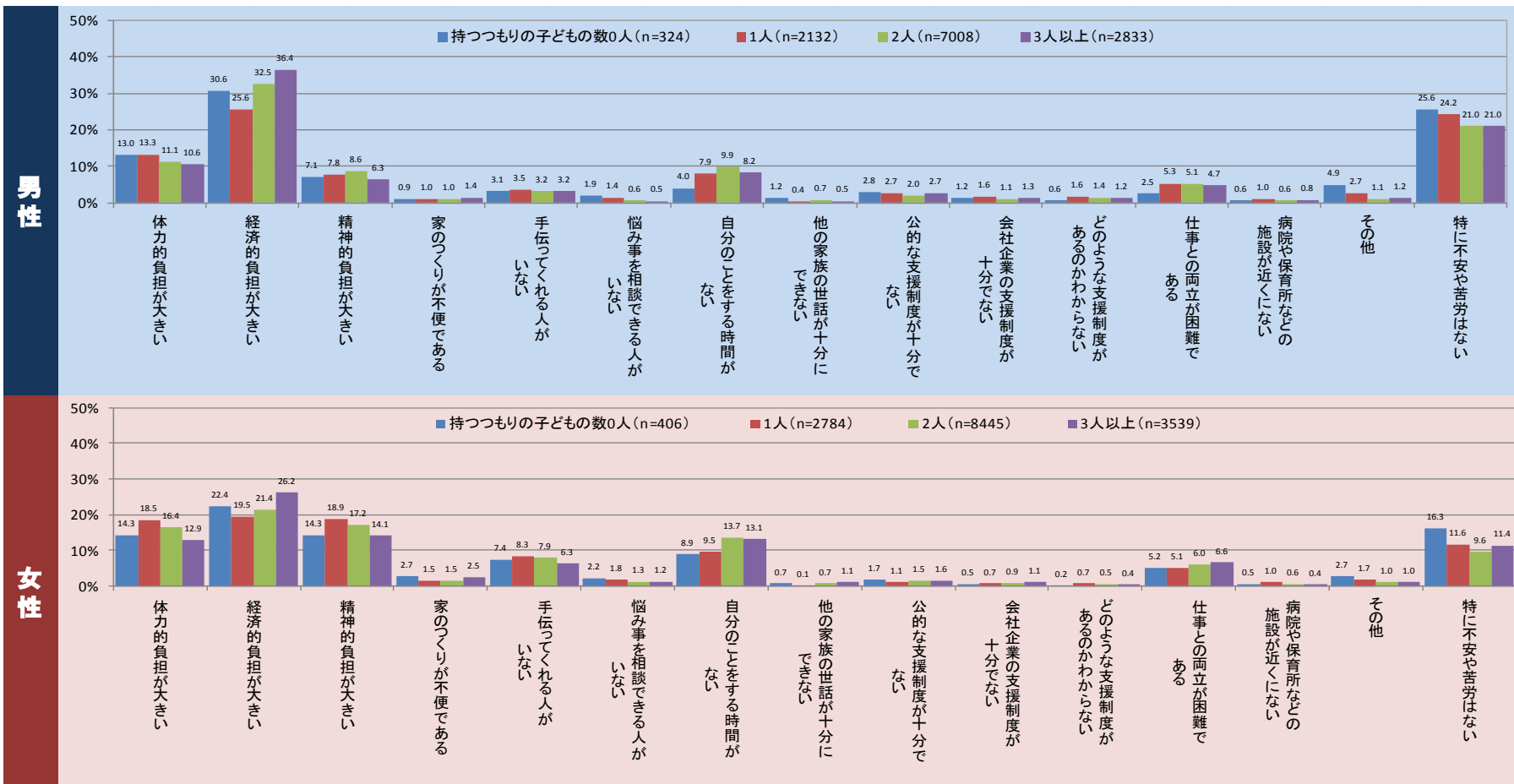


※有配偶者に現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数、及び、理想的な子どもの数を聞いた結果、最終的に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少なかった回答者を対象に、その理由を聞いた。

不安や苦勞の1位は「経済的負担が大きい」

次いで、男性では「特に不安や苦勞はない」、女性では「体力的負担が大きい」「精神的負担が大きい」など

現在の夫婦との間に子どもを持った、または過去に子どもを持ったことがある有配偶者に出産、育児に際しての不安や苦勞をたずねたところ、1位では男女とも「経済的負担が大きい」をあげる割合が2~4割程度と最も高くなっている（男性で、持つつもりの子どもの数0人で30.6%、1人で25.6%、2人で32.5%、3人以上で36.4%、女性で、持つつもりの子どもの数0人で22.4%、1人で19.5%、2人で21.4%、3人以上で26.2%）。次いで、男性では「特に不安や苦勞はない」が高く、女性では「体力的負担が大きい」「精神的負担が大きい」が高い。なお、「特に不安や苦勞はない」とする割合も一定程度ある。

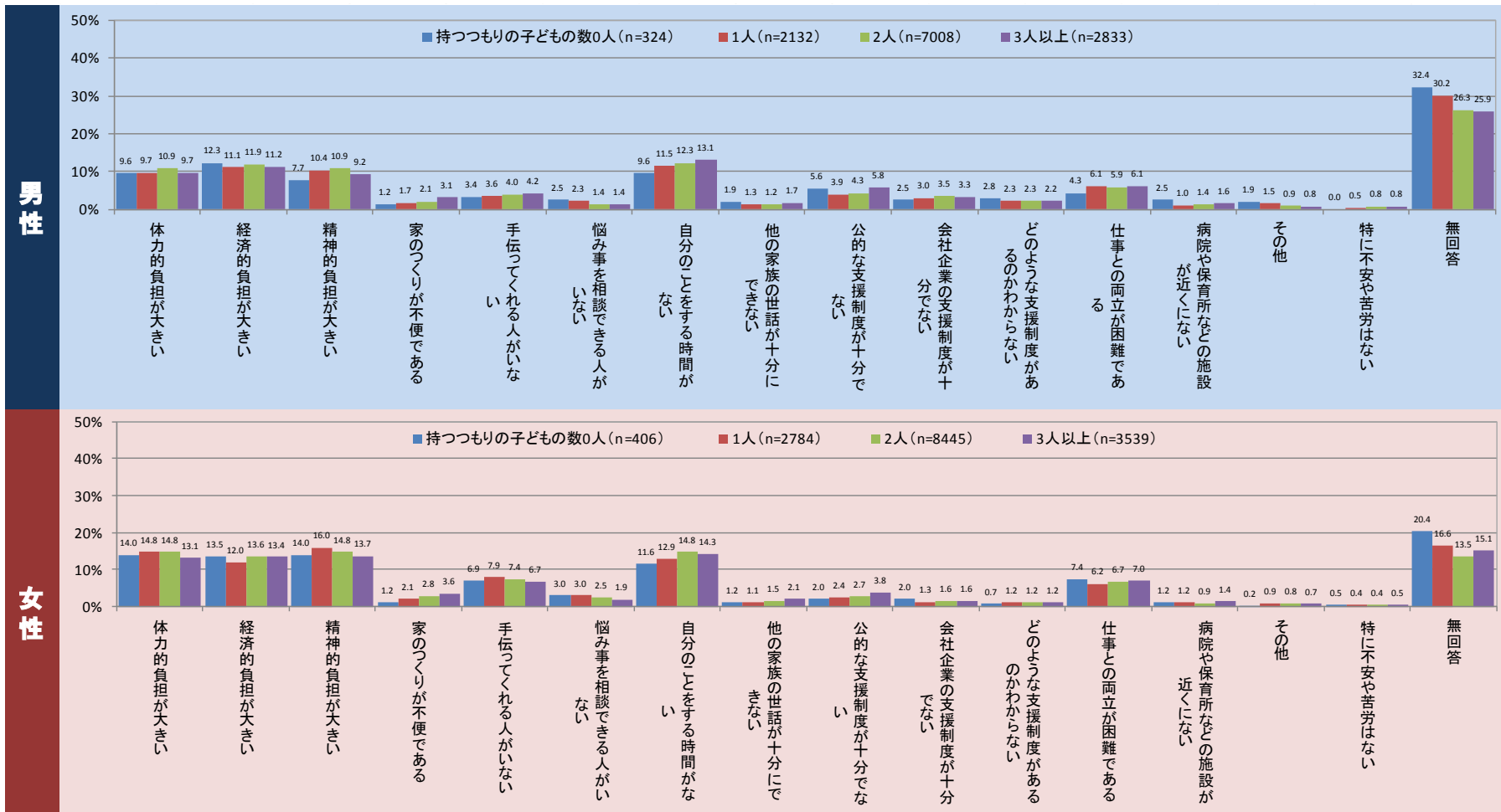


注) 対象：現在の夫婦との間に子どもを持った、または過去に子どもを持ったことがある者

注) 持つつもりの子どもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

不安や苦勞の2位は「自分のことをする時間がない」が上昇

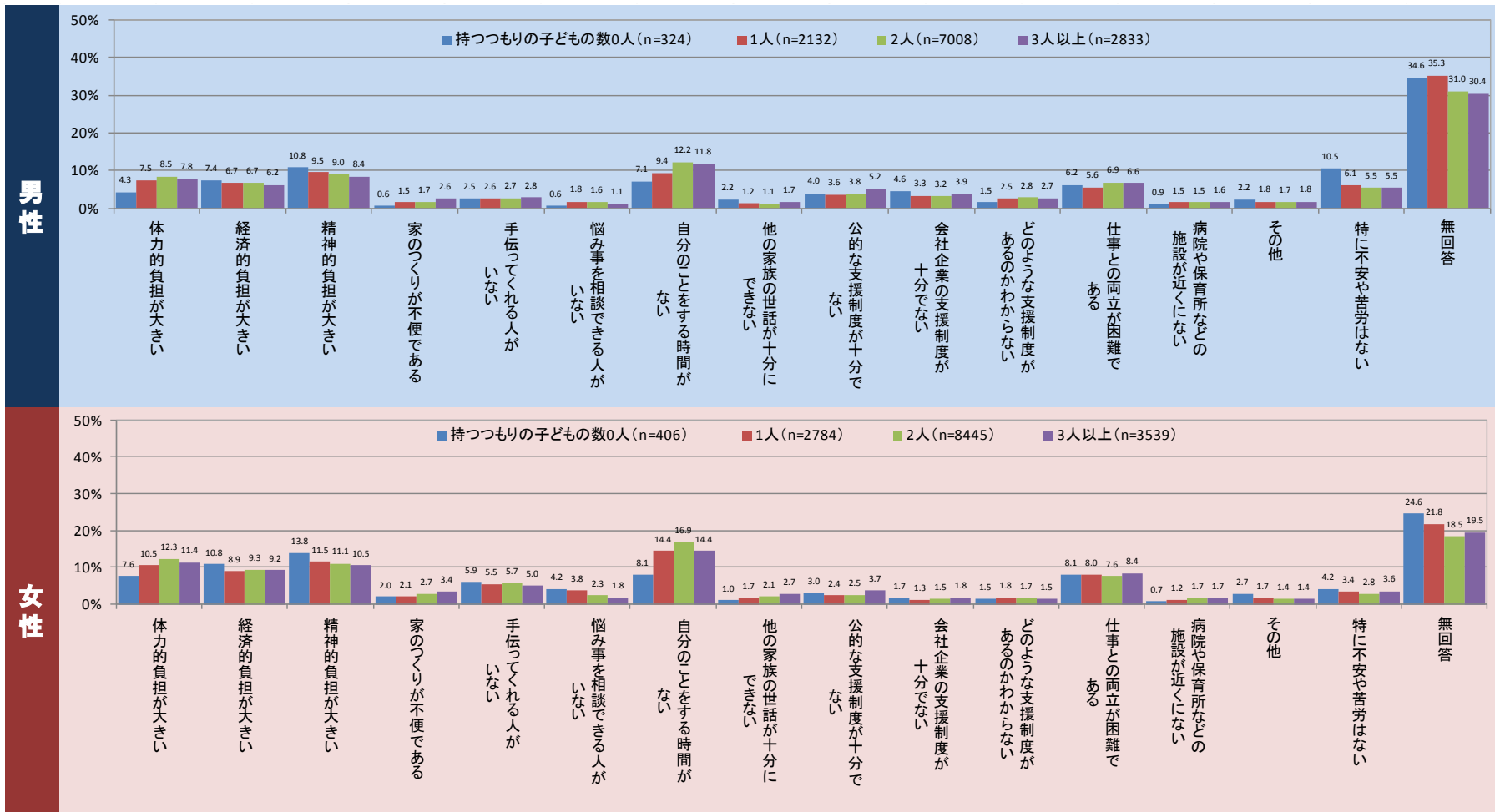
次いで、不安や苦勞の2位では、男女ともに「自分のことをする時間がない」の割合が最も高く、男性については持つつもりの子どもの数が多い程高くなる傾向にあるが、女性については、子どもの人数による傾向の差は小さい。次いで「精神的負担が大きい」「体力的負担が大きい」「経済的負担が大きい」などが高い。



注) 対象：現在の夫婦との間に子どもを持った、または過去に子どもを持ったことがある者
 注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

**不安や苦勞の3位は 持つつもりの子どもの数0人では「精神的負担が大きい」
持つつもりの子どもの数1人以上では「自分のことをする時間がない」**

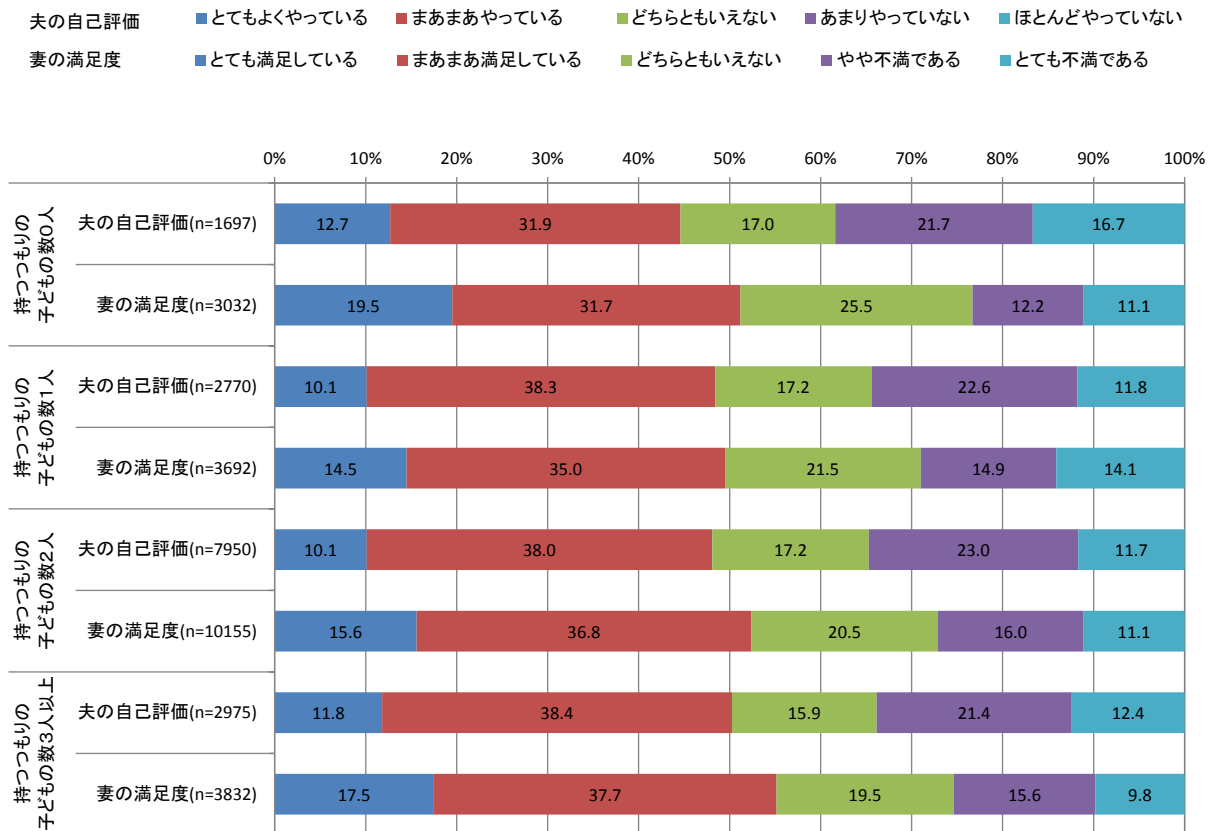
不安や苦勞の3位では、男女とも、持つつもりの子どもの数0人では「精神的負担が大きい」をあげる割合が高く（男性で10.8%、女性で13.8%）、持つつもりの子どもの数1人以上では「自分のことをする時間がない」の割合（男性で、持つつもりの子どもの数1人で9.4%、2人で12.2%、3人以上で11.8%、女性で、持つつもりの子どもの数1人で14.4%、2人で16.9%、3人以上で14.4%）が高い。



注) 対象：現在の夫婦との間に子どもを持った、または過去に子どもを持ったことがある者
注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

家事については、夫の自己評価と妻の満足度の分布に大きな乖離はみられない

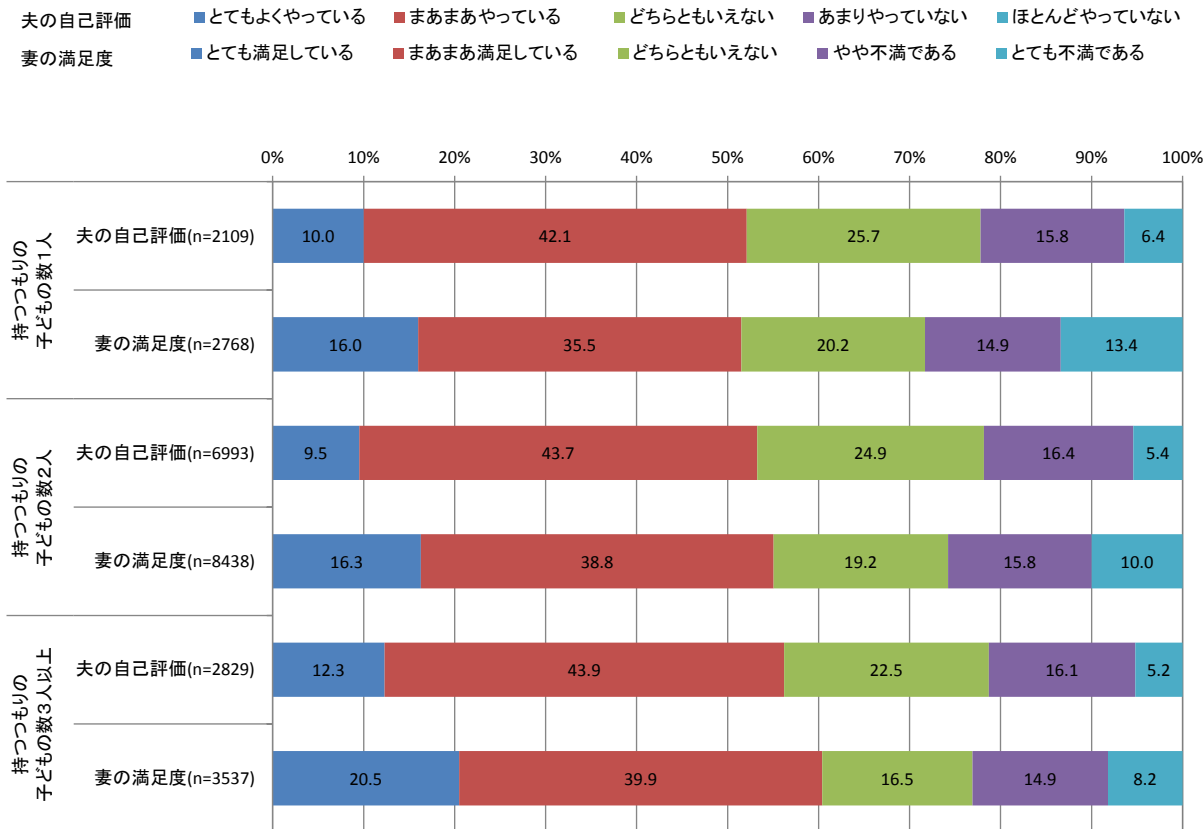
夫の家事について、妻の満足度と、夫自身の評価をたずねた。
夫の自己評価と妻の満足度の分布に大きな乖離はみられなかった。



注) 持っつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持っつもりの子どもの数

**育児についても、夫の自己評価と妻の満足度の分布に大きな乖離はみられない
また、持つつもりの子どもの数が多い程、妻の満足度は高い**

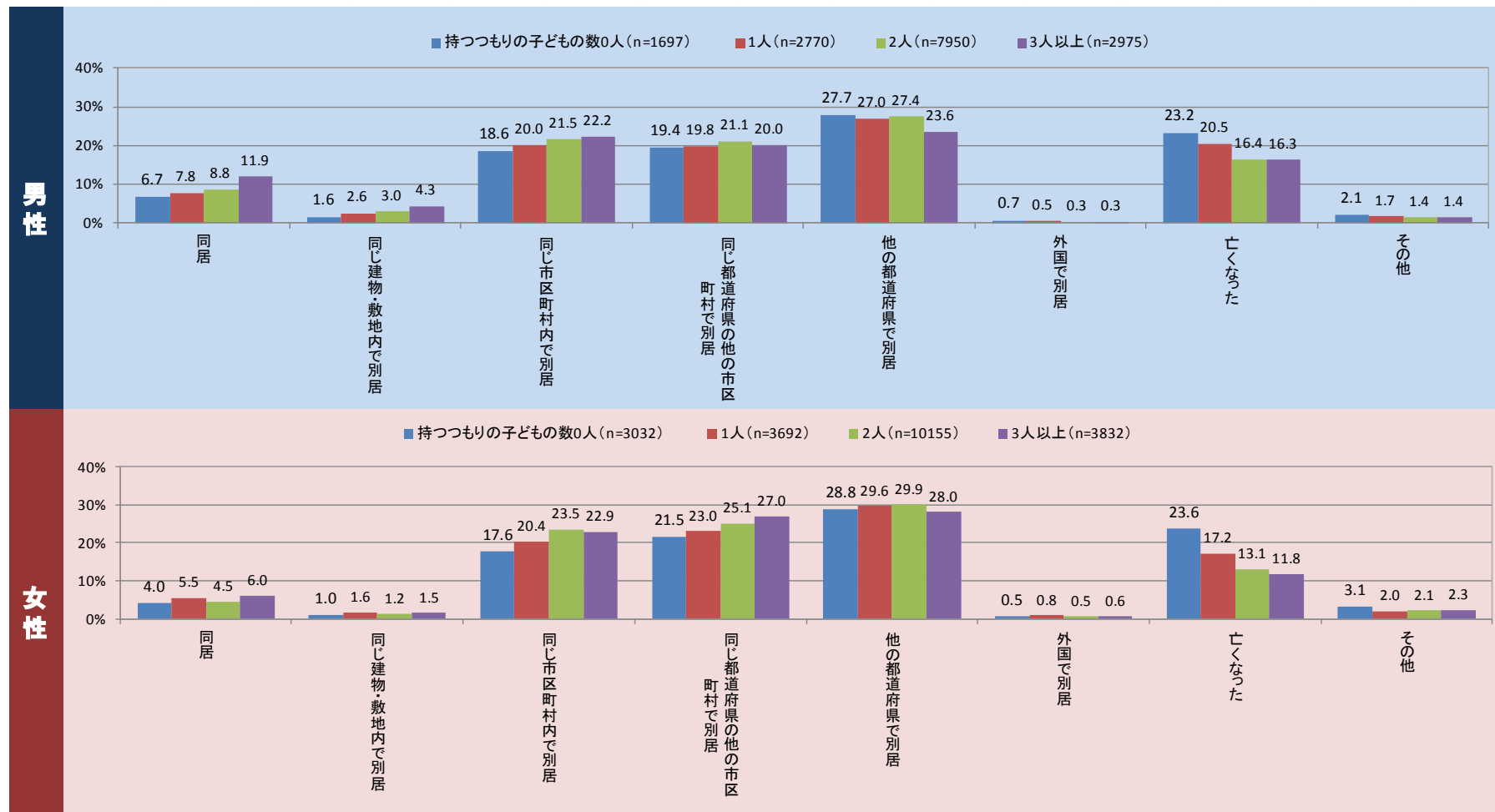
夫の育児について、妻の満足度と、夫自身の評価をたずねた。夫の自己評価と妻の満足度の分布に大きな乖離はみられなかった。また、持つつもりの子どもの数が多い程、夫に対する妻の満足度が高くなっている。



注) 対象：現在の夫婦がこれまでに持った子どもの数が1以上の有配偶者
注) 持つつもりの子どもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

有配偶者(本人)とその父親との居住距離は、持つつもりの子どもの数が多いほど 同居又は同じ市町村内で別居等の割合がやや高くなる傾向

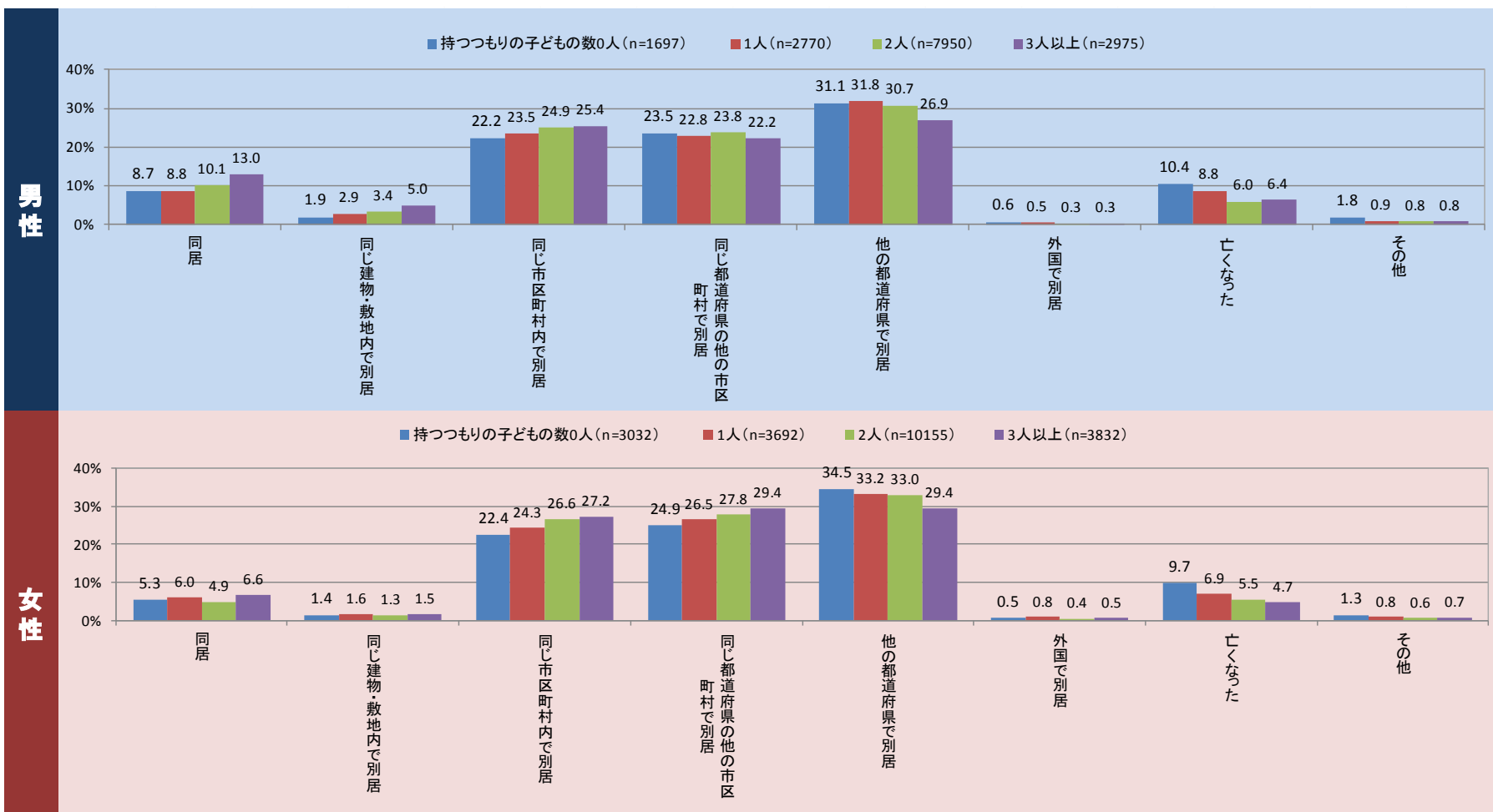
有配偶者(本人)とその父親との居住距離を見ると、男性では、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って「同居」および「同じ建物・敷地内で別居」の割合が高くなる傾向にある。女性では「同居」の割合は1割以下で男性に比べると低い。近距離での居住（「同じ市区町村内で別居」「同じ都道府県他の市区町村で別居」）の割合は、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って高くなる傾向にある。



注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

有配偶者(本人)とその母親との居住距離は、持つつもりの子どもの数が多いほど 同居又は同じ市町村内で別居等の割合がやや高くなる傾向

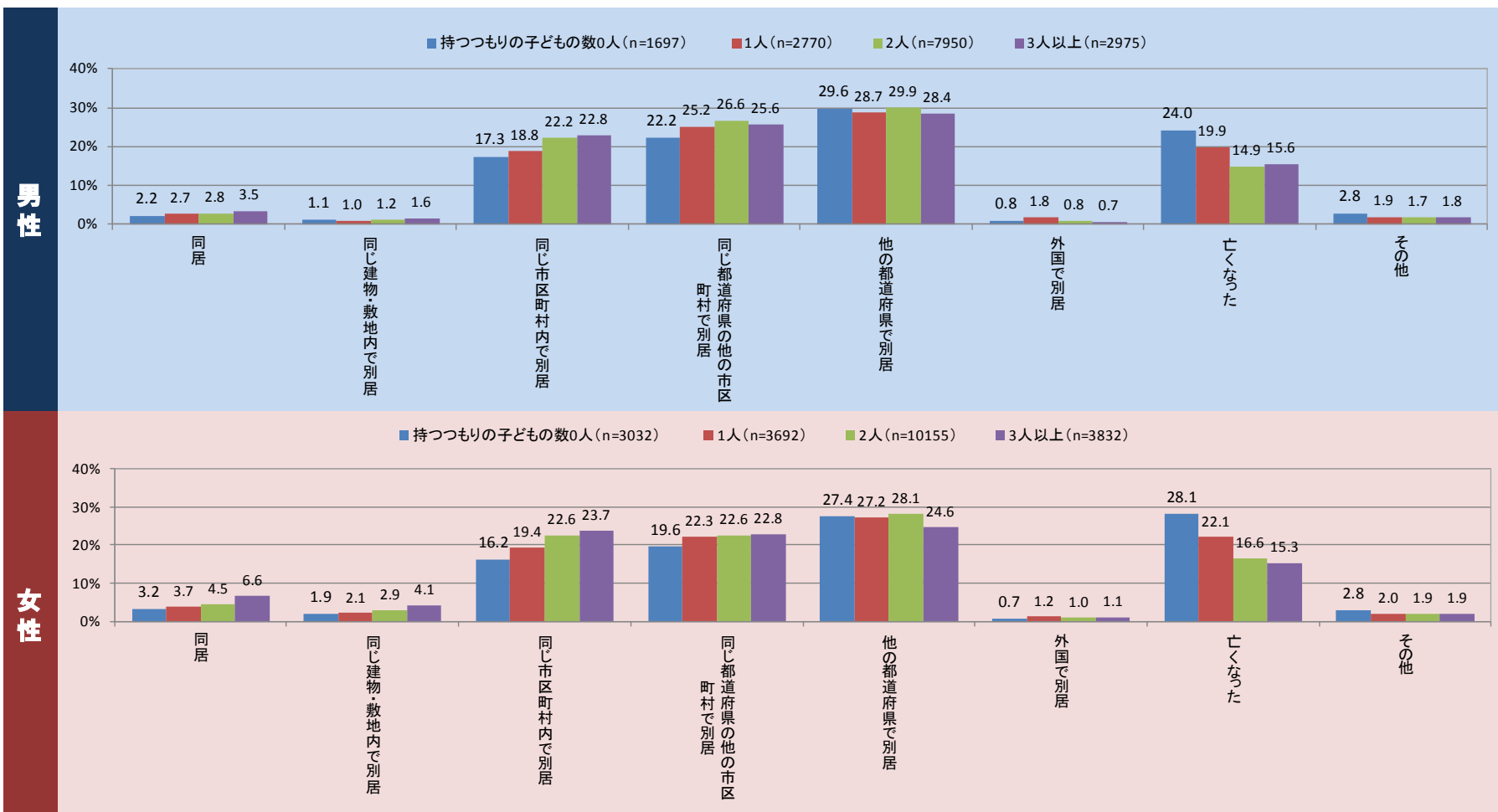
有配偶者(本人)とその母親との居住距離を見ると、男性では、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って「同居」および「同じ建物・敷地内で別居」の割合が高くなる傾向にある。女性では「同居」の割合は1割以下で男性に比べると低い。近距離での居住（「同じ市区町村内で別居」「同じ都道府県の他の市区町村で別居」）の割合は、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って高くなる傾向にある。



注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

有配偶者(本人)と配偶者の父親との居住距離は、持つつもりの子どもの数が多いほど 同居又は同じ市町村内で別居等の割合がやや高くなる傾向

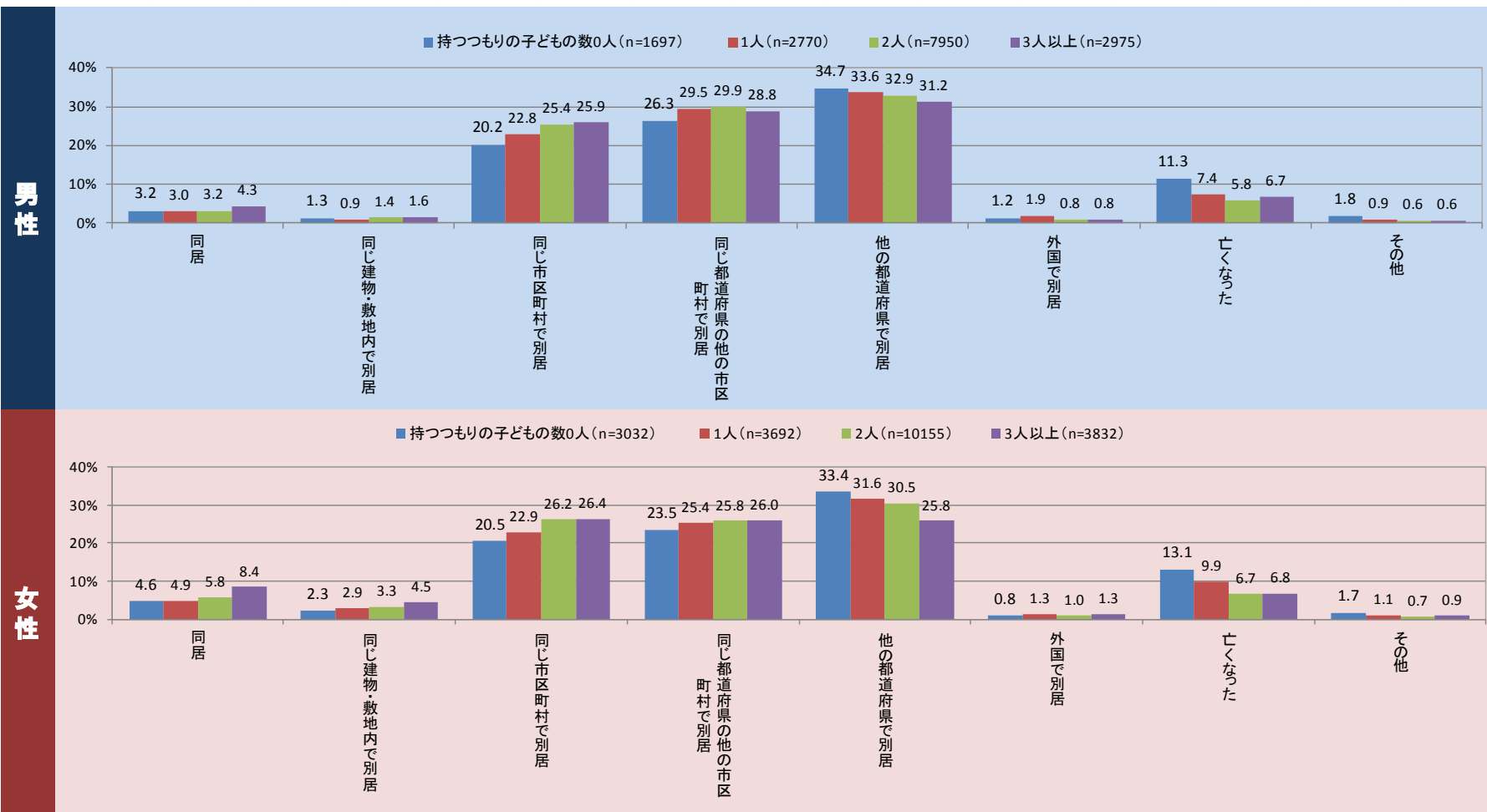
有配偶者(本人)と配偶者の父親との居住距離を見ると、女性では、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って「同居」および「同じ建物・敷地内で別居」の割合が高くなる傾向にある。男性では「同居」の割合は女性に比べると低い。近距離での居住（「同じ市区町村内で別居」「同じ都道府県他の市区町村で別居」）の割合は、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って高くなる傾向にある。



注) 持つつもりのこどもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

有配偶者(本人)と配偶者の母親との居住距離は、持つつもりの子どもの数が多いほど 同居又は同じ市町村内で別居等の割合がやや高くなる傾向

有配偶者(本人)と配偶者の母親との居住距離を見ると、女性では、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って「同居」および「同じ建物・敷地内で別居」の割合が高くなる傾向にある。男性では「同居」の割合は女性に比べると低い、近距離での居住（「同じ市区町村内で別居」「同じ都道府県内の市区町村で別居」）の割合は、持つつもりの子どもの数が多くなるに従って高くなる傾向にある。

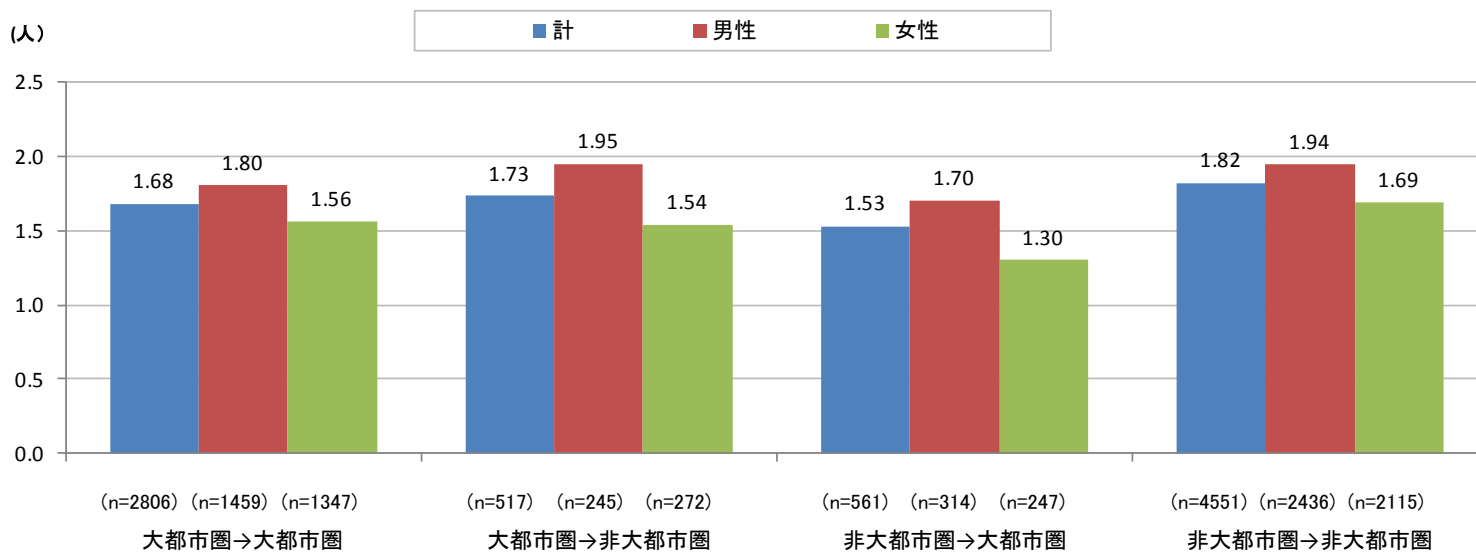


注) 持つつもりの子どもの数：現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

**これまでの移動との関係を見ると、非大都市圏→非大都市圏の者の子どもの数が多く、
非大都市圏→大都市圏の者の子どもの数が少ない**

結婚持続期間15年以上の夫・妻とも初婚の夫婦について、これまでの移動状況の類型※別に現在の平均子ども数を見ると、「非大都市圏→非大都市圏」が最も多く（計1.82人）、次いで「大都市圏→非大都市圏」（計1.73人）となっている。また、「非大都市圏→大都市圏」の子ども数が最も少ない（計1.53人）。

現在の夫婦がこれまでに持った平均子ども数
～結婚持続期間15年以上の夫・妻とも初婚の夫婦～



※移動状況の類型・・・

中学卒業時と現在の居住地を比較して以下の4つに類型化した。

大都市圏→大都市圏: 中学卒業時に大都市圏に居住し、現在も大都市圏に居住する

大都市圏→非大都市圏: 中学卒業時に大都市圏に居住し、現在は非大都市圏に居住する

非大都市圏→大都市圏: 中学卒業時に非大都市圏に居住し、現在は大都市圏に居住する

非大都市圏→非大都市圏: 中学卒業時に非大都市圏に居住し、現在も非大都市圏に居住する

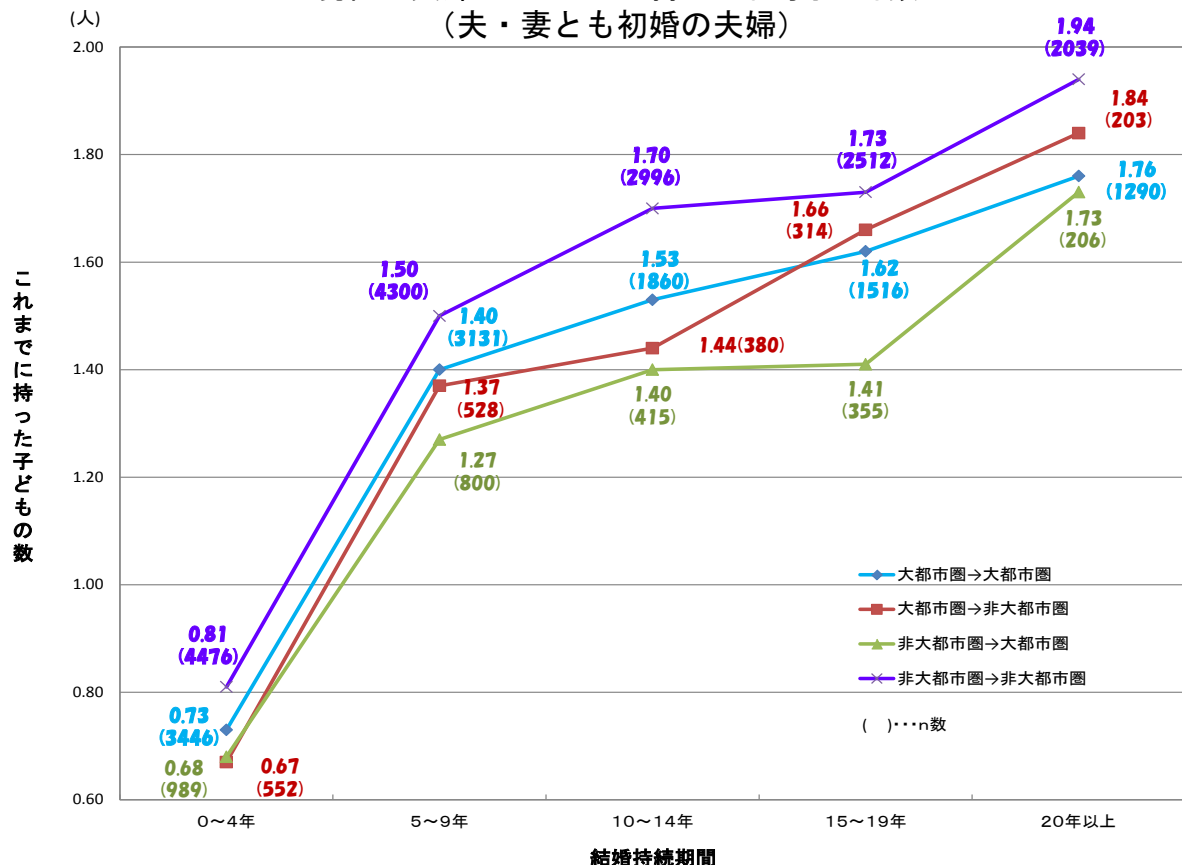
なお、大都市圏と非大都市圏の区分は下記の通り。

大都市圏=東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)+名古屋圏(岐阜、愛知、三重)+大阪圏(京都、大阪、兵庫、奈良)
非大都市圏=上記以外

**結婚持続期間別にみても、非大都市圏→非大都市圏の者の子どもの数が多く、
非大都市圏→大都市圏の者の子どもの数が少ない**

夫・妻とも初婚の夫婦について、これまでの移動状況の類型※別に結婚持続期間別平均子ども数を見ると、どの期間においても「非大都市圏→非大都市圏」の子ども数が最も多い。一方、「非大都市圏→大都市圏」では5～9年以上のいずれの期間においても子ども数が最も少ない。

現在の夫婦がこれまでに持った平均子ども数
(夫・妻とも初婚の夫婦)



※移動状況の類型・・・

中学卒業時と現在の居住地を比較して以下の4つに類型化した。

大都市圏→大都市圏: 中学卒業時に大都市圏に居住し、現在も大都市圏に居住する

大都市圏→非大都市圏: 中学卒業時に大都市圏に居住し、現在は非大都市圏に居住する

非大都市圏→大都市圏: 中学卒業時に非大都市圏に居住し、現在は大都市圏に居住する

非大都市圏→非大都市圏: 中学卒業時に非大都市圏に居住し、現在も非大都市圏に居住する

なお、大都市圏と非大都市圏の区分は下記の通り。

大都市圏＝東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)＋名古屋圏(岐阜、愛知、三重)＋大阪圏(京都、大阪、兵庫、奈良)

非大都市圏＝上記以外

＜参考＞出生動向基本調査との比較等



<参考> 出生動向基本調査との比較等

<参考> 出生動向基本調査との比較等（本調査の特徴、利用上の留意事項等）

本調査の結果には、調査の性質上、調査対象者に特有の誤差が含まれ得るものとなっており、国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」（平成22年）と比べると、独身者の結婚意向、希望する子どもの数、有配偶者の現在の子どもの数・持つつもりの子どもの数※・理想の子どもの数が一定程度少なくなっている等の特徴がある。ここでは、参考として、両調査の対象者の基本属性について可能な範囲で比較する。

※持つつもりの子どもの数…現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

独身者調査

※本調査の調査対象は18～49歳の独身男女としているが、出生動向基本調査の主な分析対象が18～34歳となっていることから、ここでは18～34歳に限定して両調査の対象者の基本属性を比較する。

- ・年齢構成については、本調査の方が18～24歳の割合が低く、25～34歳の割合が高い。
- ・居住地ブロックについては、顕著な差はみられない。

【出生動向基本調査】

現在年齢

	男性		女性	
18～19歳	435	(11.9%)	530	(15.6%)
20～24歳	1,359	(37.1%)	1,371	(40.3%)
25～29歳	1,076	(29.3%)	895	(26.3%)
30～34歳	797	(21.7%)	610	(17.9%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

【独身者調査】

	男性		女性	
18～19歳	280	(2.6%)	303	(2.7%)
20～24歳	1,859	(17.1%)	2,258	(20.1%)
25～29歳	3,672	(33.8%)	4,176	(37.2%)
30～34歳	5,045	(46.5%)	4,479	(39.9%)
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

居住地ブロック

	男性		女性	
北海道	108	(2.9%)	107	(3.1%)
東北	275	(7.5%)	244	(7.2%)
関東	1,220	(33.3%)	1,170	(34.4%)
中部	701	(19.1%)	670	(19.7%)
近畿	560	(15.3%)	554	(16.3%)
中国・四国	334	(9.1%)	264	(7.8%)
九州・沖縄	469	(12.8%)	397	(11.7%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

	男性		女性	
北海道	444	(4.1%)	523	(4.7%)
東北	934	(8.6%)	969	(8.6%)
関東	3,213	(29.6%)	3,089	(27.5%)
中部	2,055	(18.9%)	2,020	(18.0%)
近畿	1,872	(17.2%)	2,020	(18.0%)
中国・四国	1,111	(10.2%)	1,239	(11.0%)
九州・沖縄	1,227	(11.3%)	1,356	(12.1%)
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(独身者調査)

- ・卒業した(または在学中の)学校については、本調査の方が「男女共学の高校」「専修学校(高卒後)」の割合が低く、「共学の大学」「大学院」の割合が高い。また、本調査の女性の方が「短大、高専」の割合が低い。
- ・卒業・在学の別については、本調査の方が「現在在学中(休学等を含む)」が低く、「すでに卒業」の割合が高い。
- ・おつとめの状況(本人現在)については、(出生動向基本調査の「無職・家事」「学生」の割合の合計と比べた場合)本調査の方が「仕事をしていない」の割合が低く、「パート、アルバイト」の割合が高い。

【出生動向基本調査】

卒業した(または在学中の)学校

	男性		女性	
中学校	178	(4.9%)	94	(2.8%)
高校(共学)	1,116	(30.4%)	774	(22.7%)
高校(別学)	140	(3.8%)	129	(3.8%)
専修学校(高卒後)	425	(11.6%)	551	(16.2%)
短大・高専	154	(4.2%)	601	(17.6%)
女子大学	-	-	248	(7.3%)
大学(共学)	1,373	(37.4%)	905	(26.6%)
大学院	224	(6.1%)	51	(1.5%)
その他	14	(0.4%)	13	(0.4%)
不詳	43	(1.2%)	40	(1.2%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

【独身者調査】

	男性		女性	
中学校	335	(3.1%)	406	(3.6%)
男女共学の高校	2,097	(19.3%)	2,227	(19.9%)
男女別学の高校	307	(2.8%)	378	(3.4%)
専修学校(高卒後)	891	(8.2%)	1,130	(10.1%)
短大、高専	535	(4.9%)	1,386	(12.4%)
女子大学	-	-	747	(6.7%)
共学の大学	5,166	(47.6%)	4,096	(36.5%)
大学院	1,234	(11.4%)	544	(4.9%)
その他	291	(2.7%)	302	(2.7%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

卒業・在学の別

	男性		女性	
卒業	2,742	(74.8%)	2,543	(74.7%)
在学中(休学等を含む)	743	(20.3%)	727	(21.3%)
不詳	182	(5.0%)	136	(4.0%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

	男性		女性	
すでに卒業	9,727	(89.6%)	10,184	(90.8%)
現在在学中(休学等を含む)	1,129	(10.4%)	1,032	(9.2%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

おつとめの状況(本人現在)

	男性		女性	
正規の職員	1,677	(45.7%)	1,409	(41.4%)
パート・アルバイト	326	(8.9%)	501	(14.7%)
派遣・嘱託・契約社員	202	(5.5%)	276	(8.1%)
自営業主・家族従業者	164	(4.5%)	62	(1.8%)
無職・家事	310	(8.4%)	259	(7.6%)
学生	816	(22.2%)	763	(22.4%)
不詳	172	(4.7%)	136	(4.0%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

	男性		女性	
正規の職員	5,424	(50.0%)	4,915	(43.8%)
パート、アルバイト	1,895	(17.5%)	2,574	(22.9%)
派遣、嘱託、契約社員	876	(8.1%)	1,436	(12.8%)
自営業主、家族従業者	715	(6.6%)	378	(3.4%)
仕事をしていない	1,946	(17.9%)	1,913	(17.1%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(独身者調査)

- ・職種(本人現在)については、本調査の方が男性では「工場などの現場労働」の割合が、女性では「専門職」の割合が低く、男女ともに「事務職」の割合が高い。
- ・昨年の年収(税込)については、顕著な差はみられない。

【出生動向基本調査】

職種(本人現在)

	男性		女性	
主として農林漁業	49	(2.1%)	8	(0.4%)
農林漁業以外の自営業	30	(1.3%)	16	(0.7%)
専門職	698	(29.5%)	707	(31.5%)
管理職	46	(1.9%)	18	(0.8%)
事務職	244	(10.3%)	610	(27.1%)
販売・サービス職	618	(26.1%)	696	(31.0%)
工場などの現場労働	606	(25.6%)	157	(7.0%)
不詳	78	(3.3%)	36	(1.6%)
総数	2,369	(100.0%)	2,248	(100.0%)
非該当	1,298		1,158	

【独身者調査】

	男性		女性	
主として農林漁業	145	(1.6%)	48	(0.5%)
農林漁業以外の自営業	205	(2.3%)	80	(0.9%)
専門職	2,316	(26.0%)	1,901	(20.4%)
管理職	196	(2.2%)	58	(0.6%)
事務職	1,874	(21.0%)	3,673	(39.5%)
販売・サービス職	2,745	(30.8%)	3,064	(32.9%)
工場などの現場労働	1,429	(16.0%)	479	(5.1%)
不詳	-	-	-	-
総数	8,910	(100.0%)	9,303	(100.0%)
非該当	1,946		1,913	

昨年の年収(税込み)

	男性		女性	
0~99万円	304	(12.8%)	359	(16.0%)
100万円台	342	(14.4%)	556	(24.7%)
200万円台	630	(26.6%)	644	(28.6%)
300万円台	588	(24.8%)	347	(15.4%)
400万円台	233	(9.8%)	111	(4.9%)
500万円台	74	(3.1%)	23	(1.0%)
600万円台	22	(0.9%)	5	(0.2%)
700万円台	10	(0.4%)	2	(0.1%)
800万円台	2	(0.1%)	-	-
900万円台	-	-	-	-
1000万円以上	3	(0.1%)	3	(0.1%)
不詳	161	(6.8%)	198	(8.8%)
総数	2,369	(100.0%)	2,248	(100.0%)
非該当	1,298		1,158	

	男性		女性	
100万円未満	1,788	(19.0%)	2,029	(20.9%)
100万円台	1,074	(11.4%)	1,807	(18.6%)
200万円台	1,633	(17.4%)	2,642	(27.2%)
300万円台	2,215	(23.6%)	1,988	(20.5%)
400万円台	1,479	(15.7%)	810	(8.3%)
500万円台	681	(7.3%)	250	(2.6%)
600万円台	236	(2.5%)	84	(0.9%)
700万円台	100	(1.1%)	36	(0.4%)
800万円台	60	(0.6%)	21	(0.2%)
900万円台	31	(0.3%)	12	(0.1%)
1000万円以上	94	(1.0%)	36	(0.4%)
不詳	-	-	-	-
総数	9,391	(100.0%)	9,715	(100.0%)
仕事をしていない	1,465		1,501	

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(独身者調査)

・父親または母親との同別居については、本調査の方が「同居」の割合が低く、「同じ都道府県の他の市区町村で別居」「他の都道府県で別居」「外国で別居」の割合の合計が出生動向基本調査の「それ以外の地域で別居」の割合より高い。

【出生動向基本調査】

父親との同別居(現在)

	男性		女性	
同居	2,184	(59.6%)	2,223	(65.3%)
同じ市区町村内で別居	96	(2.6%)	124	(3.6%)
それ以外の地域で別居	910	(24.8%)	690	(20.3%)
すでに亡くなられた	174	(4.7%)	154	(4.5%)
不詳	303	(8.3%)	215	(6.3%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

母親との同別居(現在)

	男性		女性	
同居	2,463	(67.2%)	2,550	(74.9%)
同じ市区町村内で別居	100	(2.7%)	101	(3.0%)
それ以外の地域で別居	839	(22.9%)	595	(17.5%)
すでに亡くなられた	53	(1.4%)	46	(1.4%)
不詳	212	(5.8%)	114	(3.3%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

【独身者調査】

	男性		女性	
同居	5,245	(48.3%)	5,820	(51.9%)
同じ建物・敷地内で別居	102	(6.0%)	90	(7.4%)
同じ市区町村内で別居	554	(6.0%)	742	(7.4%)
同じ都道府県の他の市区町村で別居	1,025	(34.4%)	1,116	(29.7%)
他の都道府県で別居	2,638	(34.4%)	2,112	(29.7%)
外国で別居	67	(7.0%)	103	(6.8%)
亡くなった	764	(7.0%)	766	(6.8%)
その他	461	(4.2%)	467	(4.2%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

	男性		女性	
同居	6,037	(55.6%)	6,807	(60.7%)
同じ建物・敷地内で別居	106	(5.9%)	92	(6.9%)
同じ市区町村内で別居	538	(5.9%)	686	(6.9%)
同じ都道府県の他の市区町村で別居	1,009	(34.0%)	1,081	(28.1%)
他の都道府県で別居	2,630	(34.0%)	1,992	(28.1%)
外国で別居	50	(2.6%)	77	(2.7%)
亡くなった	279	(2.6%)	308	(2.7%)
その他	207	(1.9%)	173	(1.5%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(独身者調査)

- ・生涯の結婚意志については、本調査の方が「いずれ結婚するつもり」の割合が低い。
- ・希望する子どもの数について、本調査の方が「子どもはிரらない」の割合が高く、平均値が低い。

【出生動向基本調査】

生涯の結婚意志

	男性		女性	
いずれ結婚するつもり	3,164	(86.3%)	3,044	(89.4%)
一生結婚するつもりはない	345	(9.4%)	231	(6.8%)
不詳	158	(4.3%)	131	(3.8%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

希望する子どもの数

	男性		女性	
子どもはிரらない	430	(11.7%)	335	(9.8%)
1人	253	(6.9%)	224	(6.6%)
2人	2,097	(57.2%)	1,898	(55.7%)
3人	613	(16.7%)	713	(20.9%)
4人	50	(1.4%)	71	(2.1%)
5人以上	19	(0.5%)	15	(0.4%)
不詳	205	(5.6%)	150	(4.4%)
総数	3,667	(100.0%)	3,406	(100.0%)

平均 1.90人 (n) (不詳を除く) (3,462)

平均 2.00人 (n) (3,256)

※5人以上は5人として算出

【独身者調査】

	男性		女性	
いずれ結婚するつもり	7,980	(73.5%)	8,979	(80.1%)
一生結婚するつもりはない	2,876	(26.5%)	2,237	(19.9%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

	男性		女性	
子どもはிரらない	3,307	(30.5%)	2,855	(25.5%)
1人	1,351	(12.4%)	1,423	(12.7%)
2人	4,731	(43.6%)	5,283	(47.1%)
3人	1,269	(11.7%)	1,497	(13.3%)
4人	98	(0.9%)	94	(0.8%)
5人	27	(0.2%)	31	(0.3%)
6人以上	73	(0.7%)	33	(0.3%)
不詳	-	-	-	-
総数	10,856	(100.0%)	11,216	(100.0%)

平均 1.44人 (n) (10,856)

平均 1.53人 (n) (11,216)

※6人以上は6人として算出

<参考> 出生動向基本調査との比較等（本調査の特徴、利用上の留意事項等）

有配偶者調査

※本調査の調査対象は18～49歳の有配偶の男女を調査対象としているが、出生動向基本調査は夫婦とも初婚の49歳以下の女性を主な分析対象としていることから、ここでは夫婦とも初婚の49歳以下の女性に限定して両調査の対象者の基本属性を比較する。（以下、表では単に「初婚女性」と表記。）

- ・年齢構成については、本調査の方が30代前半の割合が高く、30代後半の割合が低い。
- ・居住地ブロックについては、顕著な差はみられない。

【出生動向基本調査】

現在年齢

	初婚女性
19歳以下	2 (0.0%)
20～24歳	132 (2.0%)
25～29歳	520 (7.8%)
30～34歳	1,122 (16.7%)
35～39歳	1,744 (26.0%)
40～44歳	1,602 (23.9%)
45～49歳	1,583 (23.6%)
総数	6,705 (100.0%)

【有配偶者調査】

	男性	女性	初婚女性
18～19歳	1 (0.0%)	9 (0.0%)	7 (0.0%)
20～24歳	39 (0.3%)	405 (2.0%)	363 (2.0%)
25～29歳	955 (6.2%)	3,275 (15.8%)	3,002 (16.5%)
30～34歳	4,224 (27.4%)	6,871 (33.2%)	6,164 (33.8%)
35～39歳	1,996 (13.0%)	3,307 (16.0%)	2,866 (15.7%)
40～44歳	3,671 (23.9%)	3,609 (17.4%)	3,076 (16.9%)
45～49歳	4,506 (29.3%)	3,235 (15.6%)	2,754 (15.1%)
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

居住地ブロック

	初婚女性
北海道	251 (3.7%)
東北	562 (8.4%)
関東	2,176 (32.5%)
中部	1,368 (20.4%)
近畿	1,028 (15.3%)
中国・四国	582 (8.7%)
九州・沖縄	738 (11.0%)
総数	6,705 (100.0%)

	男性	女性	初婚女性
北海道	714 (4.6%)	939 (4.5%)	809 (4.4%)
東北	1,275 (8.3%)	1,808 (8.7%)	1,593 (8.7%)
関東	4,312 (28.0%)	5,472 (26.4%)	4,851 (26.6%)
中部	2,894 (18.8%)	4,050 (19.6%)	3,608 (19.8%)
近畿	2,640 (17.2%)	3,444 (16.6%)	3,067 (16.8%)
中国・四国	1,707 (11.1%)	2,410 (11.6%)	2,106 (11.6%)
九州・沖縄	1,850 (12.0%)	2,588 (12.5%)	2,198 (12.1%)
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・卒業した(または在学中の)学校については、本調査の方が「男女共学の高校」「男女別学の高校」の割合が低く、「共学の大学」の割合が高い。
- ・卒業・在学別については、顕著な差はみられない。

【出生動向基本調査】

卒業した(または在学中の)学校

	初婚女性
中学校	193 (2.9%)
高校(共学)	1,878 (28.0%)
高校(別学)	770 (11.5%)
専修学校(高卒後)	974 (14.5%)
短大・高専	1,659 (24.7%)
女子大学	272 (4.1%)
大学(共学)	831 (12.4%)
大学院	78 (1.2%)
その他	13 (0.2%)
不詳	37 (0.6%)
総数	6,705 (100.0%)

卒業・在学の別

	初婚女性
卒業	6,568 (98.0%)
在学中(休学等を含む)	16 (0.2%)
不詳	121 (1.8%)
総数	6,705 (100.0%)

【有配偶者調査】

	男性	女性	初婚女性
中学校	228 (1.5%)	405 (2.0%)	294 (1.6%)
男女共学の高校	2,945 (19.1%)	4,549 (22.0%)	3,786 (20.8%)
男女別学の高校	605 (3.9%)	1,157 (5.6%)	941 (5.2%)
専修学校(高卒後)	1,336 (8.7%)	2,426 (11.7%)	2,126 (11.7%)
短大, 高専	930 (6.0%)	4,510 (21.8%)	4,028 (22.1%)
女子大学	-	1,136 (5.5%)	1,048 (5.7%)
共学の大学	7,491 (48.7%)	5,628 (27.2%)	5,190 (28.5%)
大学院	1,611 (10.5%)	525 (2.5%)	493 (2.7%)
その他	246 (1.6%)	375 (1.8%)	326 (1.8%)
不詳	-	-	-
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

	男性	女性	初婚女性
すでに卒業	15,329 (99.6%)	20,649 (99.7%)	18,182 (99.7%)
現在在学中(休学等を含む)	63 (0.4%)	62 (0.3%)	50 (0.3%)
不詳	-	-	-
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・おつとめの状況(現在)については、本調査の方が「パート、アルバイト」の割合が低く、(出生動向基本調査の「無職・家事」「学生」の割合の合計と比べた場合)「仕事をしていない」の割合が高い。
- ・職種(現在)については、本調査の方が「事務職」の割合が高い。

【出生動向基本調査】

おつとめの状況(現在)

	初婚女性	
正規の職員	1,253	(18.7%)
パート・アルバイト	2,033	(30.3%)
派遣・嘱託・契約社員	333	(5.0%)
自営業主・家族従業者	377	(5.6%)
無職・家事	2,479	(37.2%)
学生	14	
不詳	216	(3.2%)
総数	6,705	(100.0%)

【有配偶者調査】

	男性		女性		初婚女性	
正規の職員	13,435	(87.3%)	3,948	(19.1%)	3,480	(19.1%)
パート、アルバイト	200	(1.3%)	4,803	(23.2%)	4,208	(23.1%)
派遣、嘱託、契約社員	374	(2.4%)	1,047	(5.1%)	888	(4.9%)
自営業主、家族従業者	1,171	(7.6%)	900	(4.3%)	751	(4.1%)
仕事をしていない	212	(1.4%)	10,013	(48.3%)	8,905	(48.8%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

職種(現在)

	初婚女性	
主として農林漁業	56	(1.4%)
農林漁業以外の自営業	63	(1.6%)
専門職	1,099	(27.5%)
管理職	51	(1.3%)
事務職	1,065	(26.7%)
販売・サービス職	1,174	(29.4%)
工場などの現場労働	332	(8.3%)
不詳	156	(3.9%)
総数	3,996	(100.0%)
非該当	2,709	

	男性		女性		初婚女性	
主として農林漁業	116	(0.8%)	102	(1.0%)	93	(1.0%)
農林漁業以外の自営業	341	(2.2%)	177	(1.7%)	139	(1.5%)
専門職	4,886	(32.2%)	2,514	(23.5%)	2,245	(24.1%)
管理職	2,036	(13.4%)	153	(1.4%)	125	(1.3%)
事務職	3,221	(21.2%)	4,024	(37.6%)	3,520	(37.7%)
販売・サービス職	3,004	(19.8%)	3,069	(28.7%)	2,649	(28.4%)
工場などの現場労働	1,576	(10.4%)	659	(6.2%)	556	(6.0%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,180	(100.0%)	10,698	(100.0%)	9,327	(100.0%)
非該当	212		10,013		8,905	

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・配偶者のおつとめの状況(現在)については、本調査の方が「自営業主、家族従業者」の割合がやや低く、(出生動向基本調査の「無職・家事」「学生」の割合の合計と比べた場合)「仕事をしていない」の割合がやや高い。
- ・配偶者の職種(現在)については、本調査の方が「事務職」の割合がやや高い。

【出生動向基本調査】

配偶者のおつとめの状況(現在)

	初婚女性	
正規の職員	5,319	(79.3%)
パート・アルバイト	71	(1.1%)
派遣・嘱託・契約社員	164	(2.4%)
自営業主・家族従業者	751	(11.2%)
無職・家事	88	
学生	13	(1.5%)
不詳	299	(4.5%)
総数	6,705	(100.0%)

配偶者の職種(現在)

	初婚女性	
主として農林漁業	78	(1.2%)
農林漁業以外の自営業	221	(3.5%)
専門職	1,994	(31.6%)
管理職	759	(12.0%)
事務職	723	(11.5%)
販売・サービス職	1,302	(20.7%)
工場などの現場労働	866	(13.7%)
不詳	362	(5.7%)
総数	6,305	(100.0%)
非該当	400	

【有配偶者調査】

	男性		女性		初婚女性	
正規の職員	5,101	(33.1%)	16,491	(79.6%)	14,736	(80.8%)
パート、アルバイト	3,745	(24.3%)	700	(3.4%)	598	(3.3%)
派遣、嘱託、契約社員	620	(4.0%)	647	(3.1%)	521	(2.9%)
自営業主、家族従業者	654	(4.2%)	1,860	(9.0%)	1,485	(8.1%)
仕事をしていない	5,272	(34.3%)	1,013	(4.9%)	892	(4.9%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

	男性		女性		初婚女性	
主として農林漁業	100	(1.0%)	258	(1.3%)	226	(1.3%)
農林漁業以外の自営業	232	(2.3%)	593	(3.0%)	469	(2.7%)
専門職	2,628	(26.0%)	6,601	(33.5%)	5,910	(34.1%)
管理職	212	(2.1%)	2,217	(11.3%)	1,894	(10.9%)
事務職	2,998	(29.6%)	2,947	(15.0%)	2,720	(15.7%)
販売・サービス職	3,074	(30.4%)	4,394	(22.3%)	3,790	(21.9%)
工場などの現場労働	876	(8.7%)	2,688	(13.6%)	2,331	(13.4%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	10,120	(100.0%)	19,698	(100.0%)	17,340	(100.0%)
非該当	5,272		1,013		892	

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・昨年の年収については、本調査の方が、0～100万円台の割合がやや低く、200万円台以上の割合がやや高い。
- ・配偶者の昨年の年収については、本調査の方が300～500万円台がやや高い。

【出生動向基本調査】

昨年の収入

	初婚女性
0～99万円	1,540 (38.5%)
100万円台	909 (22.7%)
200万円台	466 (11.7%)
300万円台	330 (8.3%)
400万円台	218 (5.5%)
500万円台	142 (3.6%)
600万円台	87 (2.2%)
700万円台	35 (0.9%)
800万円台	21 (0.5%)
900万円台	5 (0.1%)
1000万円以上	19 (0.5%)
不詳	224 (5.6%)
総数	3,996 (100.0%)
非該当	2,709

【有配偶者調査】

	男性	女性	初婚女性
100万円未満	201 (1.3%)	4,854 (34.4%)	4,287 (34.7%)
100万円台	215 (1.4%)	2,225 (15.7%)	1,907 (15.4%)
200万円台	834 (5.5%)	1,839 (13.0%)	1,567 (12.7%)
300万円台	2,253 (14.8%)	1,840 (13.0%)	1,609 (13.0%)
400万円台	3,153 (20.6%)	1,296 (9.2%)	1,152 (9.3%)
500万円台	2,860 (18.7%)	807 (5.7%)	711 (5.8%)
600万円台	2,093 (13.7%)	507 (3.6%)	443 (3.6%)
700万円台	1,375 (9.0%)	310 (2.2%)	271 (2.2%)
800万円台	816 (5.3%)	165 (1.2%)	146 (1.2%)
900万円台	525 (3.4%)	112 (0.8%)	102 (0.8%)
1000万円以上	948 (6.2%)	174 (1.2%)	156 (1.3%)
不詳	-	-	-
総数	15,273 (100.0%)	14,129 (100.0%)	12,351 (100.0%)
仕事をしていない	119	6,582	5,881

配偶者の昨年の収入

	初婚女性
0～99万円	113 (1.8%)
100万円台	174 (2.8%)
200万円台	644 (10.2%)
300万円台	1,060 (16.8%)
400万円台	1,018 (16.1%)
500万円台	882 (14.0%)
600万円台	696 (11.0%)
700万円台	471 (7.5%)
800万円台	334 (5.3%)
900万円台	193 (3.1%)
1000万円以上	326 (5.2%)
不詳	394 (6.2%)
総数	6,305 (100.0%)
非該当	400

	男性	女性	初婚女性
100万円未満	3,471 (32.6%)	449 (2.2%)	387 (2.2%)
100万円台	1,757 (16.5%)	455 (2.2%)	371 (2.1%)
200万円台	1,213 (11.4%)	1,799 (8.9%)	1,548 (8.7%)
300万円台	1,374 (12.9%)	4,259 (21.1%)	3,783 (21.2%)
400万円台	1,190 (11.2%)	4,270 (21.1%)	3,773 (21.2%)
500万円台	738 (6.9%)	3,392 (16.8%)	3,026 (17.0%)
600万円台	372 (3.5%)	2,153 (10.6%)	1,923 (10.8%)
700万円台	200 (1.9%)	1,360 (6.7%)	1,186 (6.7%)
800万円台	126 (1.2%)	771 (3.8%)	665 (3.7%)
900万円台	51 (0.5%)	440 (2.2%)	388 (2.2%)
1000万円以上	160 (1.5%)	879 (4.3%)	757 (4.3%)
不詳	-	-	-
総数	10,652 (100.0%)	20,227 (100.0%)	17,807 (100.0%)
仕事をしていない	4,740	484	425

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

・父親または母親との同別居については、本調査の方が「同じ都道府県の他の市区町村で別居」「他の都道府県で別居」「外国で別居」の割合の合計が出生動向基本調査の「それ以外の地域で別居」の割合より高い。

【出生動向基本調査】

父親との同別居(現在)

	初婚女性	
同居	272	(4.1%)
同じ市区町村内で別居	1,701	(25.4%)
それ以外の地域で別居	3,089	(46.1%)
すでに亡くなっていた(いる)	1,345	(20.1%)
不詳	-	-
不詳	298	(4.4%)
総数	6,705	(100.0%)

母親との同別居(現在)

	初婚女性	
同居	401	(6.0%)
同じ市区町村内で別居	2,063	(30.8%)
それ以外の地域で別居	3,543	(52.8%)
すでに亡くなっていた(いる)	504	(7.5%)
不詳	-	-
不詳	194	(2.9%)
総数	6,705	(100.0%)

【有配偶者調査】

	男性		女性		初婚女性	
同居	1377	(8.9%)	1011	(4.9%)	890	(4.9%)
同じ建物・敷地内で別居	468	(2.1%)	267	(1.3%)	237	(1.3%)
同じ市区町村内で別居	3241	(24.1%)	4553	(23.3%)	4031	(23.4%)
同じ都道府県の他の市区町村で別居	3152	(23.9%)	5082	(25.9%)	4484	(27.1%)
他の都道府県で別居	4102	(30.8%)	6079	(30.6%)	5412	(32.6%)
外国で別居	64	(0.5%)	113	(0.6%)	98	(0.6%)
亡くなった	2748	(20.7%)	3138	(15.9%)	2674	(16.5%)
その他	240	(1.8%)	468	(2.3%)	406	(2.5%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

	男性		女性		初婚女性	
同居	1581	(10.3%)	1131	(5.5%)	982	(5.4%)
同じ建物・敷地内で別居	532	(3.5%)	287	(1.4%)	256	(1.4%)
同じ市区町村内で別居	3761	(24.5%)	5319	(25.7%)	4676	(25.6%)
同じ都道府県の他の市区町村で別居	3583	(23.3%)	5680	(27.4%)	5028	(27.5%)
他の都道府県で別居	4648	(30.3%)	6747	(32.6%)	6002	(33.0%)
外国で別居	59	(0.4%)	106	(0.5%)	89	(0.5%)
亡くなった	1088	(7.1%)	1287	(6.2%)	1076	(5.9%)
その他	140	(0.9%)	154	(0.7%)	123	(0.7%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

・配偶者の父親または母親との同別居については、本調査の方が「同じ都道府県の他の市区町村で別居」「他の都道府県で別居」「外国で別居」の割合の合計が出生動向基本調査の「それ以外の地域で別居」の割合より高い。

【出生動向基本調査】

配偶者の父親との同別居(現在)

	初婚女性
同居	707 (10.5%)
同じ市区町村内で別居	1,554 (23.2%)
それ以外の地域で別居	2,541 (37.9%)
すでに亡くなっていた(いる)	1,596 (23.8%)
	- -
不詳	307 (4.6%)
総数	6,705 (100.0%)

配偶者の母親との同別居(現在)

	初婚女性
同居	974 (14.5%)
同じ市区町村内で別居	1,867 (27.8%)
それ以外の地域で別居	2,960 (44.1%)
すでに亡くなっていた(いる)	675 (10.1%)
	- -
不詳	229 (3.4%)
総数	6,705 (100.0%)

【有配偶者調査】

	男性	女性	初婚女性
同居	439 (2.9%)	938 (4.5%)	847 (4.6%)
同じ建物・敷地内で別居	187 (22.3%)	585 (24.1%)	527 (24.4%)
同じ市区町村内で別居	3253	4408	3921
同じ都道府県の他の市区町村で別居	3951	4582	4097
他の都道府県で別居	4524 (56.0%)	5628 (50.3%)	5069 (51.3%)
外国で別居	147	209	188
亡くなった	2605 (16.9%)	3940 (19.0%)	3234 (17.7%)
その他	286 (1.9%)	421 (2.0%)	349 (1.9%)
不詳	-	-	-
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

	男性	女性	初婚女性
同居	522 (3.4%)	1233 (6.0%)	1092 (6.0%)
同じ建物・敷地内で別居	204 (25.8%)	681 (28.1%)	610 (28.2%)
同じ市区町村で別居	3762	5138	4534
同じ都道府県の他の市区町村で別居	4500	5263	4682
他の都道府県で別居	5069 (63.2%)	6268 (56.7%)	5588 (57.4%)
外国で別居	162	219	191
亡くなった	1053 (6.8%)	1704 (8.2%)	1372 (7.5%)
その他	120 (0.8%)	205 (1.0%)	163 (0.9%)
不詳	-	-	-
総数	15,392 (100.0%)	20,711 (100.0%)	18,232 (100.0%)

<参考> 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・現在の夫婦がこれまでに持った子どもの数について、本調査の方が平均値が低く、0~1人の割合が高い。
- ・現在の夫婦が今後もつ予定の子どもの数について、本調査の方が「(もう)持つつもりはない」の割合が低く、平均値が高い。

【出生動向基本調査】

現在の夫婦がこれまでに持った子どもの数

	初婚女性	
0人	914	(13.6%)
1人	1,495	(22.3%)
2人	3,058	(45.6%)
3人	1,052	(15.7%)
4人	116	(1.7%)
5人	18	(0.3%)
6人	4	(0.1%)
7人	1	(0.0%)
8人以上	-	-
不詳	47	(0.7%)
総数	6,705	(100.0%)

平均 1.71人
(n) (不詳を除く) (6,658)

※8人以上は8人として算出

現在の夫婦が今後もつ予定の子どもの数

	初婚女性	
(もう)生むつもりはない	4,844	(72.2%)
(あと)1人生むつもり	1,072	(16.0%)
(あと)2人生むつもり	485	(7.2%)
(あと)3人生むつもり	102	(1.5%)
(あと)4人以上生むつもり	7	(0.1%)
不詳	195	(2.9%)
総数	6,705	(100.0%)

平均 0.36人
(n) (不詳を除く) (6,510)

※4人以上は4人として算出

【有配偶者調査】

	男性		女性		初婚女性	
0人	3,199	(20.8%)	5,654	(27.3%)	4,775	(26.2%)
1人	4,308	(28.0%)	6,546	(31.6%)	5,791	(31.8%)
2人	5,978	(38.8%)	6,649	(32.1%)	6,024	(33.0%)
3人	1,658	(10.8%)	1,595	(7.7%)	1,423	(7.8%)
4人	210	(1.4%)	228	(1.1%)	189	(1.0%)
5人	32	(0.2%)	32	(0.2%)	26	(0.1%)
6人	4	(0.0%)	5	(0.0%)	4	(0.0%)
7人	2	(0.0%)	2	(0.0%)	-	-
8人以上	1	(0.0%)	-	-	-	-
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

平均 1.45人 1.24人 1.26人
(n) (不詳を除く) (15,392) (20,711) (18,232)

※8人以上は8人として算出

	男性		女性		初婚女性	
(もう)持つつもりはない	10,667	(69.3%)	12,668	(61.2%)	11,019	(60.4%)
(あと)1人持つつもり	3,329	(21.6%)	5,499	(26.6%)	4,896	(26.9%)
(あと)2人持つつもり	1,220	(7.9%)	2,259	(10.9%)	2,056	(11.3%)
(あと)3人持つつもり	138	(0.9%)	262	(1.3%)	239	(1.3%)
(あと)4人持つつもり	9	(0.0%)	14	(0.1%)	13	(0.1%)
(あと)5人持つつもり	6	(0.0%)	5	(0.0%)	5	(0.0%)
(あと)6人以上持つつもり	23	(0.1%)	4	(0.0%)	4	(0.0%)
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)

平均 0.41人 0.53人 0.54人
(n) (不詳を除く) (15,392) (20,711) (18,232)

※6人以上は6人として算出

I. 出生動向基本調査との比較等

(有配偶者調査)

- ・現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数について、本調査の方が平均値が低く、0~1人の割合が高い。
- ・現在の夫婦にとって理想的な子どもの数については、本調査の方が平均値が低く、0~2人の割合が高い。

【出生動向基本調査】

現在の夫婦が最終的に持つつもりの子どもの数

	初婚女性	
子どもは持たない	272	(4.1%)
1人	853	(12.7%)
2人	3,697	(55.1%)
3人	1,469	(21.9%)
4人	143	(2.1%)
5人以上	37	(0.6%)
不詳	234	(3.5%)
総数	6,705	(100.0%)
平均 (n) (不詳を除く)	2.07人	(6,471)

※5人以上は5人として算出

現在の夫婦にとって理想的な子どもの数

	初婚女性	
子どもはいらない	196	(2.9%)
1人	246	(3.7%)
2人	3,125	(46.6%)
3人	2,567	(38.3%)
4人	301	(4.5%)
5人以上	55	(0.8%)
不詳	215	(3.2%)
総数	6,705	(100.0%)
平均 (n) (不詳を除く)	2.42人	(6,490)

※5人以上は5人として算出

【有配偶者調査】

	男性		女性		初婚女性	
0人	1,697	(11.0%)	3,032	(14.6%)	2,400	(13.2%)
1人	2,770	(18.0%)	3,692	(17.8%)	3,184	(17.5%)
2人	7,950	(51.7%)	10,155	(49.0%)	9,229	(50.6%)
3人	2,609	(17.0%)	3,357	(16.2%)	3,024	(16.6%)
4人	287	(1.9%)	396	(1.9%)	332	(1.8%)
5人	46		65		51	
6人	9	(0.5%)	9	(0.4%)	8	(0.3%)
7人	6		3		2	
8人以上	18		2		2	
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)
平均 (n) (不詳を除く)	1.83人	(15,392)	1.74人	(20,711)	1.78人	(18,232)

※8人以上は8人として算出

	男性		女性		初婚女性	
0人	1,012	(6.6%)	2,056	(9.9%)	1,629	(8.9%)
1人	1,270	(8.3%)	2,086	(10.1%)	1,805	(9.9%)
2人	8,410	(54.6%)	10,657	(51.5%)	9,564	(52.5%)
3人	4,220	(27.4%)	5,272	(25.5%)	4,693	(25.7%)
4人	323	(2.1%)	500	(2.4%)	426	(2.3%)
5人	90		109		91	
6人	11	(1.0%)	12	(0.7%)	9	(0.6%)
7人	6		2		1	
8人以上	50		17		14	
不詳	-	-	-	-	-	-
総数	15,392	(100.0%)	20,711	(100.0%)	18,232	(100.0%)
平均 (n) (不詳を除く)	2.14人	(15,392)	2.03人	(20,711)	2.05人	(18,232)

※8人以上は8人として算出

<付表> 調査票

<付表> 調査票 ～独身者調査～

アンケートページにアクセスいただきまして、ありがとうございます。
今回のアンケートは、「結婚・出産に関する実態と意識調査(独身者調査)」です。

【モニターの皆様へお願い】

本アンケートは一般に公開していない情報が含まれる場合がございます。
アンケート内で知り得た、いかなる情報についても、決して第三者に口外なさぬようお願いいたします。

「第三者への口外」に含まれる例

- ・口頭、電話、メール等で友人・知人に情報共有すること
- ・掲示板やブログに書き込むことで不特定多数に情報共有すること
- ・その他いかなる手段でも情報が漏れてしまうことに寄与する行為

【注意事項】

- ・当社は会員の個人情報を、個人情報保護方針に基づいて取り扱います。
- ・複数のアンケート画面を同時に開きますと、正常に回答できず、ポイント付与の対象になりません。同時に複数のアンケートにご回答なさらないようにご注意ください。
- ・当社のアンケートへの回答は、Internet Explorer 10、11、Google Chrome 最新版を推奨環境としています。

「同意し、アンケート開始」ボタンをクリックすると、アンケート画面が別ウィンドウで表示されます。
上記注意事項にご同意いただけない場合は、ブラウザを閉じて終了してください。

同意し、アンケート開始

SC1 あなたの性別をお答えください。
【必須】

- 男性
- 女性

SC2 あなたの年齢をお答えください。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
17歳以下、18歳～49歳(1歳刻みで提示)、50歳以上

SC3 あなたがお住まいの都道府県をご回答ください。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
47都道府県、海外

SC4 あなたは現在、配偶者がいますか。
【必須】

- 配偶者がいる
- 配偶者がいない

Q1 これまでに結婚したことがありますか。
【必須】

- ない
- ある(離別した)
- ある(死別した)

Q1-1 はじめて結婚したときの年齢をご回答ください。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
16歳以下、17歳～49歳(1歳刻み)

Q2 最後に卒業した(あるいは在学中の)学校をご回答ください。
【必須】

- 中学校
- 男女共学の高校
- 男女別学の高校
- 専修学校(高卒後)
- 短大、高専
- 女子大学
- 共学の大学
- 大学院
- その他

Q2-1 Q2の回答「<Q2の回答選択肢を表示>」をすでに卒業しましたが、あるいは在学中ですか。
【必須】

- すでに卒業
- 現在在学中(休学等を含む)

Q2-2 中学校を卒業したときの居住地をご回答ください。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
47都道府県、外国

Q2-3 最後の学校を卒業したときの居住地をご回答ください。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
47都道府県、外国

<付表> 調査票 ～独身者調査～

Q3 あなたの平成25年(2013年)の年収をご回答ください。

【必須】

- 100万円未満
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- 仕事をしていない

Q4 現在のおつとめの状況をご回答ください。

【必須】

- 正規の職員
- パート、アルバイト
- 派遣、嘱託、契約社員
- 自営業主、家族従業者
- 仕事をしていない

Q4-1 現在の職種をご回答ください。

【必須】

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス職
- 工場などの現場労働

Q5 あなたのお父様の居住地をご回答ください。

【必須】

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村内で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

Q5-1 あなたのお母様の居住地をご回答ください。

【必須】

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村内で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

Q6 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。最も重要な理由の順に3つまで選び、それぞれの欄に1～3の番号を記入してください(半角数字)。すでに結婚が決まっている場合は、「すでに結婚が決まっている」にのみ「1」を記入し、他は記入しないで下さい。

結婚するにはまだ若すぎるから	位
結婚する必要を感じないから	位
今は仕事又は学業にうちこみたいから	位
今は趣味や娯楽を楽しみたいから	位
独身の自由さや気楽さを失いたくないから	位
適当な相手にまだめぐり会わないから	位
異性とうまくつきあえないから	位
結婚資金が足りないから	位
結婚生活のための住居のメドがたたないから	位
結婚後の生活資金が足りないから	位
親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	位
その他	位
すでに結婚が決まっている	位

Q7 これまでに異性と交際した経験はありますか。

【必須】

- 交際した経験がある
- 交際した経験はない

Q8 現在、交際している異性はいますか。

【必須】

- 交際している異性はいない
- 友人として交際している異性がいる
- 恋人として交際している異性がいる
- 婚約者がいる

<付表> 調査票 ～独身者調査～

Q9 交際相手とはどのようなきっかけで知り合いましたか。
【必須】

- 学校で
- 職場や仕事の関係で
- 幼なじみ・隣人関係
- 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で
- 友人や兄弟姉妹を通じて
- 見合いで
- 結婚相談所で
- 街なかや旅先で
- アルバイトで
- その他

Q10 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のうちどちらですか（現時点の率直なお考えとしてどちらか1つをご回答ください）。
【必須】

- いずれ結婚するつもり
- 一生結婚するつもりはない

Q11 何歳ぐらいで結婚したいと思いますか。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
18歳以下、19歳～49歳（1歳刻みで提示）、50歳以上

Q12 結婚・出産後も仕事を続けたいですか。
【必須】

- 結婚後も出産後も仕事を続けたい
- 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は仕事をやめたい
- 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめたい
- 結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない
- 結婚後は仕事をやめたい

Q13 子どもは何人位欲しいですか。（希望する子どもの数）
【必須】

- 子どもはいらない
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人以上

Q13-1 子どもが1人以上欲しいと回答された方に伺います。最初（次）のお子さんは何歳で持ちたいですか。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
18歳以下、19歳～49歳（1歳刻みで提示）、50歳以上

Q14 あなたはこれまでにお子さんを持ったことがありますか？
【必須】

- 子どもを持ったことがある
- 子どもを持ったことがない

Q14-1 最初のお子さんは何歳でお持ちになりましたか。
【必須】

▼選択してください。

プルダウン選択肢提示内容
16歳以下、17歳～49歳（1歳刻みで提示）

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

アンケートページにアクセスいただきまして、ありがとうございます。
今回のアンケートは、「結婚・出産に関する実態と意識調査(有配偶者調査)」です。

【モニターの皆様へのお願い】

本アンケートは一般に公開していない情報が含まれる場合がございます。
アンケート内で知り得た、いかなる情報についても、決して第三者に口外ならぬようお願いいたします。

「第三者への口外」に含まれる例

- ・口頭、電話、メール等で友人・知人に情報共有すること
- ・掲示板やブログに書き込むことで不特定多数に情報共有すること
- ・その他いかなる手段でも情報が漏れてしまうことに寄与する行為

【注意事項】

- ・当社は会員の個人情報を、個人情報保護方針に基づいて取り扱います。
- ・複数のアンケート画面を同時に開きますと、正常に回答できず、ポイント付与の対象になりません。
- ・同時に複数のアンケートにご回答なされないようご注意ください。
- ・当社のアンケートへの回答は、Internet Explorer 10、11、Google Chrome 最新版を推奨環境としています。

「同意し、アンケート開始」ボタンをクリックすると、アンケート画面が別ウィンドウで表示されます。
上記注意事項にご同意いただけない場合は、ブラウザを閉じて終了してください。

同意し、アンケート開始

SC1 あなたの性別をお答えください。

【必須】

- 男性
- 女性

SC2 あなたの年齢をお答えください。

【必須】

▼選択してください。

ブルダウン選択肢提示内容
17歳以下、18歳～49歳(1歳刻みで提示)、50歳以上

SC3 あなたがお住まいの都道府県をご回答ください。

【必須】

▼選択してください。

ブルダウン選択肢提示内容
47都道府県、海外

SC4 あなたは現在、配偶者がいますか。

【必須】

- 配偶者がいる
- 配偶者がいない

Q1 初婚ですか、あるいは再婚ですか。

【必須】

- 初婚
- 離婚後再婚
- 死別後再婚

Q1-1 あなたの配偶者は初婚ですか、あるいは再婚ですか。

【必須】

- 初婚
- 離婚後再婚
- 死別後再婚

Q2 はじめて結婚したときの年齢をご回答ください。

【必須】

▼選択してください。

ブルダウン選択肢提示内容
16歳以下、17歳～49歳(1歳刻み)

Q2-1 現在の結婚をしたときの年齢をご回答ください。

【必須】

▼選択してください。

ブルダウン選択肢提示内容
16歳以下、17歳～49歳(1歳刻み)

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

Q3 最後に卒業した(あるいは在学中の)学校をご回答ください。

【必須】

- 中学校
- 男女共学の高校
- 男女別学の高校
- 専修学校(高卒後)
- 短大、高専
- 女子大学
- 共学の大学
- 大学院
- その他

Q3-1 Q3の回答「<Q3の回答選択肢を表示>」をすでに卒業しましたか、あるいは在学中ですか。

【必須】

- すでに卒業
- 現在在学中(休学等を含む)

Q4 中学校を卒業したときの居住地をご回答ください。

【必須】

▼選択してください。

Q4-1 最後の学校を卒業したときの居住地をご回答ください

【必須】

▼選択してください。

Q5 現在居住している住宅の種類をご回答ください。

【必須】

- 持ち家(一戸建て)
- 持ち家(共同住宅)
- 都市再生機構・公社・公営の賃貸住宅
- 民営の賃貸住宅
- 社宅などの給与住宅
- その他

Q5-1 現在、ご夫婦で同居されていますか。

【必須】

- 同居している
- 別居している

Q6 あなたの平成25年(2013年)の年収をご回答ください。

【必須】

- 100万円未満
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- 仕事をしていない

Q7 配偶者の平成25年(2013年)の年収をご回答ください。

【必須】

- 100万円未満
- 100万円台
- 200万円台
- 300万円台
- 400万円台
- 500万円台
- 600万円台
- 700万円台
- 800万円台
- 900万円台
- 1000万円以上
- 仕事をしていない

Q8 現在の結婚を決めたときのおつとめの状況をご回答ください。

【必須】

- 正規の職員
- パート、アルバイト
- 派遣、嘱託、契約社員
- 自営業主、家族従業者
- 仕事をしていなかった

Q8-1 現在の結婚を決めたときの職種をご回答ください。

【必須】

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス職
- 工場などの現場労働

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

Q8-2 現在の結婚をした直後のおつとめの状況をご回答ください。

【必須】

- 正規の職員
- パート、アルバイト
- 派遣、嘱託、契約社員
- 自営業主、家族従業者
- 仕事をしていた

Q8-3 現在の結婚をした直後の職種をご回答ください。

【必須】

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス職
- 工場などの現場労働

Q8-4 現在の結婚をした直後の居住地をご回答ください。

【必須】

▼選択してください。

ブルダウン選択肢提示内容
47都道府県、外国

Q8-5 現在のおつとめの状況をご回答ください。

【必須】

- 正規の職員
- パート、アルバイト
- 派遣、嘱託、契約社員
- 自営業主、家族従業者
- 仕事をしていない

Q8-6 現在の職種をご回答ください。

【必須】

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス職
- 工場などの現場労働

Q8-7 現在の結婚をした直後から現在までのおつとめの状況はご希望に沿っていましたか。

【必須】

- 希望通り(出産後も含めて)
- 結婚後は希望通りだが、出産後は希望通りでない
- 結婚後は希望通りでなかったが、出産後は希望通り
- 希望通りでない(出産後も含めて)

Q9 配偶者の現在のおつとめの状況をご回答ください。

【必須】

- 正規の職員
- パート、アルバイト
- 派遣、嘱託、契約社員
- 自営業主、家族従業者
- 仕事をしていない

Q9-1 配偶者の現在の職種をご回答ください。

【必須】

- 主として農林漁業
- 農林漁業以外の自営業
- 専門職
- 管理職
- 事務職
- 販売・サービス職
- 工場などの現場労働

Q10 現在のご夫婦がこれまでに持ったお子さんの数をご回答ください(生後亡くなったお子さんも含めます)。

【必須】

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人
- 8人以上

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

Q11 現在のご夫婦がこれまでに持ったお子さんの生まれた年をご回答ください(生後亡くなったお子さんも含めます。これまでに持ったお子さんが9人以上の方は8人目までご回答ください)。

プルダウン選択肢提示内容
1980年～2015年(1年刻み)

【1人目】

【必須】

1人目 ▼選択してください。生まれ

【2人目】

【必須】

2人目 ▼選択してください。生まれ

【3人目】

【必須】

3人目 ▼選択してください。生まれ

【4人目】

【必須】

4人目 ▼選択してください。生まれ

【5人目】

【必須】

5人目 ▼選択してください。生まれ

【6人目】

【必須】

6人目 ▼選択してください。生まれ

【7人目】

【必須】

7人目 ▼選択してください。生まれ

【8人目】

【必須】

8人目 ▼選択してください。生まれ

Q12 現在のご夫婦が今後もつ予定のお子さんの数をご回答ください。

【必須】

- (もう)持つつもりはない
- (あと)1人持つつもり
- (あと)2人持つつもり
- (あと)3人持つつもり
- (あと)4人持つつもり
- (あと)5人持つつもり
- (あと)6人以上持つつもり

Q13 現在のご夫婦が最終的に持つつもりのお子さんの数をご回答ください。(生後亡くなったお子さんは含みません)

【必須】

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人
- 8人以上

Q14 現在のご夫婦にとって理想的なお子さんの数は何人ですか？

【必須】

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人
- 8人以上

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

Q15 持つつもりのお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか？ 最も重要な理由の順に3つ
【必須】 まで選び、それぞれの欄に1～3の番号を記入してください(半角数字)。 <女性のみ>

- | | |
|--------------------------|---|
| 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 位 |
| 家が狭いから | 位 |
| 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから | 位 |
| 子どもがのびのび育つ環境ではないから | 位 |
| 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 位 |
| 高齢で生むのはいやだから | 位 |
| これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから | 位 |
| 健康上の理由から | 位 |
| ほしいけれどもできないから | 位 |
| 夫の家事育児への協力が得られないから | 位 |
| 配偶者が望まないから | 位 |
| 末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから | 位 |
| 末子が自分の定年退職までに成人してほしいから | 位 |
| その他 | 位 |

Q15-1 持つつもりのお子さんの数が理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか？ 最も重要な理由の順
【必須】 に3つまで選び、それぞれの欄に1～3の番号を記入してください(半角数字)。 <男性のみ>

- | | |
|--------------------------|---|
| 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 位 |
| 家が狭いから | 位 |
| 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから | 位 |
| 子どもがのびのび育つ環境ではないから | 位 |
| 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 位 |
| 妻の高齢出産を避けたいから | 位 |
| これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから | 位 |
| 健康上の理由から | 位 |
| ほしいけれどもできないから | 位 |
| 自分が家事育児に協力的でないから | 位 |
| 配偶者が望まないから | 位 |
| 末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから | 位 |
| 末子が自分の定年退職までに成人してほしいから | 位 |
| その他 | 位 |

Q16 あなたが現在の結婚以前に持ったお子さんはおられますか。
【必須】

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人以上

Q17 あなたのお父様の居住地をご回答ください。
【必須】

<有配偶者(本人)の父親について>

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村内で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

Q17-1 あなたのお母様の居住地をご回答ください。
【必須】

<有配偶者(本人)の母親について>

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村内で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

Q18 配偶者のお父様の居住地をご回答ください。
【必須】

<配偶者の父親について>

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村内で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

Q18-1 配偶者のお母様の居住地をご回答ください。
【必須】

<配偶者の母親について>

- 同居
- 同じ建物・敷地内で別居
- 同じ市区町村で別居
- 同じ都道府県他の市区町村で別居
- 他の都道府県で別居
- 外国で別居
- 亡くなった
- その他

<付表> 調査票 ～有配偶者調査～

Q19 あなたはどの程度家事を行っていますか。

【必須】

<男性のみ>

- とてもよくやっている
- まあまあやっている
- どちらともいえない
- あまりやっていない
- ほとんどやっていない

Q19-1 あなたはどの程度育児を行っていますか。

【必須】

<男性のみ>

- とてもよくやっている
- まあまあやっている
- どちらともいえない
- あまりやっていない
- ほとんどやっていない

Q20 夫の家事にどの程度満足していますか。

【必須】

<女性のみ>

- とても満足している
- まあまあ満足している
- どちらともいえない
- やや不満である
- とても不満である

Q20-1 夫の育児にどの程度満足していますか。

【必須】

<女性のみ>

- とても満足している
- まあまあ満足している
- どちらともいえない
- やや不満である
- とても不満である

Q21 出産、育児に際しての不安や苦勞はありましたか。最も重要な理由の順に3つまで選び、それぞれの欄に1～3の番号を記入してください(半角数字)。特に不安や苦勞はない場合は、「特に不安や苦勞はない」にのみ「1」を記入し、他は記入しないでください。

- | | |
|---------------------|---|
| 体力的負担が大きい | 位 |
| 経済的負担が大きい | 位 |
| 精神的負担が大きい | 位 |
| 家のつくりが不便である | 位 |
| 手伝ってくれる人がいない | 位 |
| 悩み事を相談できる人がいない | 位 |
| 自分のことをする時間がない | 位 |
| 他の家族の世話が十分にできない | 位 |
| 公的な支援制度が十分でない | 位 |
| 会社企業の支援制度が十分でない | 位 |
| どのような支援制度があるのかわからない | 位 |
| 仕事との両立が困難である | 位 |
| 病院や保育所などの施設が近くにない | 位 |
| その他 | 位 |
| 特に不安や苦勞はない | 位 |